

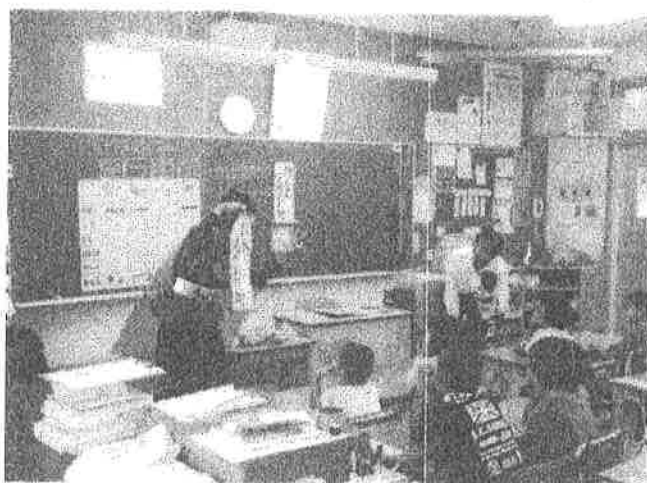
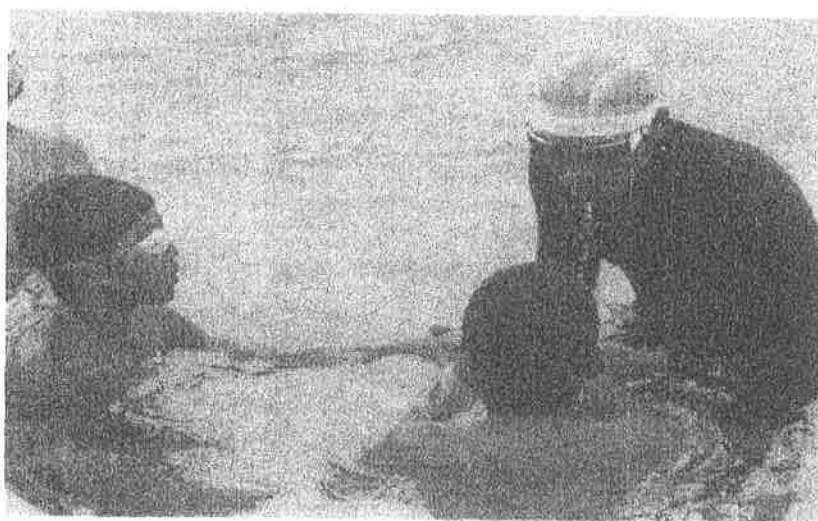
# 平成 23 年度 校内研まとめ

与那国小学校

研究主題

## 運動に親しみ、たくましい体と心をつくる児童の育成

～一人一人がめあてをもち、主体的に取り組む体育学習をとおして～



11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

# H23 年度 校内研究の概要

## 1 研究主題

「運動に親しみ、たくましい体と心をつくる児童の育成」  
～一人一人がめあてを持ち、主体的に取り組む体育学習をとおして～

## 2 研究主題設定の理由

近年、子どもを取りまく環境の変化は著しい。その要因としては科学技術の発達、経済発展に伴う国際化、情報化、少子・高齢化等があげられる。近所に遊ぶ友達が減っていく中で家庭用ゲーム機やインターネット、携帯電話が普及したことは、子ども達の戸外遊びを減少させ、生活習慣や食生活の乱れは、肥満増加の原因の一つにあげられている。このことは子ども達の体力の低下、ひいては子ども達の体育離れにつながり、今や体育が「好き」「嫌い」の二極化を課題とした議論は、日常的に行われるようになった。

学習指導要領体育科の目標は「心と体を一体としてとらえ、…生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。」である。また、沖縄県の「学校教育における指導の努力点」にも「生涯にわたる豊かな『スポーツライフ』の基礎を培う視点に立ち、…積極的に運動に親しむ資質や能力を育てること」があげられている。このことから、子どもの運動離れが進む現代、体育科では技能の習得だけではなく、技能を習得していく過程で得られる「もっとやってみたい」「またやってみたい」という経験、つまりスポーツと関わりながら健康を保持増進していくための基礎となる運動経験が重視されていることがわかる。

本校は学校教育目標に「一生懸命がんばる子」の育成、具体目標に「よく考え自ら学ぶ子（知）」「礼儀正しく思いやりのある子（徳）」「健康で明るくたくましい子（体）」「粘り強くやりぬく子（意欲）」の育成を掲げて日々教育活動に取り組んでいる。研究は4つの具体目標の中の「健康で明るくたくましい子」の育成に焦点をあてて進められている。毎日の教育実践、特に体育科において、子ども達が主体的に参加し、達成する喜びを味わい「またやってみたい」と思うような授業をしていくことが「健康で明るくたくましい子」そして「一生懸命がんばる子」の育成につながっていくと考える。

本校の児童は休み時間に外で遊ぶ子が多く、21年度のアンケートの結果で89%の児童が運動をするのが好き、82%の児童が体育の学習が好きと答えるほど運動好きである。放課後のスポーツ活動にはミニバスケットや野球、柔道などがあり34%の児童が所属している。また、これらのスポーツ活動に参加しながら27%の児童が陸上の練習にも参加している。与那国町は陸上が盛んで、毎年行われる町少年陸上競技大会の練習にほとんどの児童が参加している。こうしてみると児童の運動の機会は十分確保されているようであるが、児童数の減少やゲーム機の普及などの影響で放課後の子ども達の活動は変化してきており、体力の二極化は本校においても大きな課題の一つである。過去2年間の新体力テストの結果を考察すると、「長座体前屈」の結果の向上が見られる一方「握力」「上体起こし」に課題が残る。各学年の課題についてはそれぞれの授業実践の中で単元の種目と関わる項目について考察し指導に生かしてきた。

上に掲げたテーマを主題とした研究を、推進校として3年間取り組んできた。これまでの研究を通して、「めあての持たせ方」「場の設定の工夫」「コーディネーション運動」「食育」等に視点をおいて授業づくりを行うことで、研究主題である「運動に親しみ、たくましい体と心をつくる児童の育成」を図る授業の在り方を検証することができた。子ども達は、運動の大切さ、そして何より楽しさを知ること、より高いめあてに主体的に取り組み、日常的に運動に親しむようになってきたと思われる。ケンステップや滑り台、平均台の設置など遊びの場も充実してきた。平均台でのジャンケンやいろいろな技でのなわとび、友達とボール遊びなどをしている子ども達の表情を見ても運動をすることを楽しんでいることがわかる。子ども達が楽しみながら習慣的に体を動かすことができるようになったことは本研究の大きな成果であった。今後、この運動への意識をどのように継続させていくかが課題となってくる。

今年度は、これまでの成果や課題を踏まえ、研究主題を継続することでさらなるたくましい体と心をつくる児童の育成を目指していく。学習における基本的な考え方についての理論研究会、授業研究会の

実施、指導計画や評価規準を見直すなどの授業改善に向けての取り組みはこれまで同様継続して行っていく。研究の視点を「めあてを持ち主体的に取り組む体育授業の実践」「規則正しい生活習慣の確立と食育指導」「たくましく優しい心を育む道徳授業の実践」とし、「知・徳・体」バランスのとれた心身共に豊かな児童の育成を図る。

### 3 研究仮説

- (1) 一人一人にめあてを持たせ効果的な授業展開（場の工夫、児童相互のかかわり、コーディネーション運動）を図ることで、児童が主体的に取り組む、運動の楽しさや喜びを感じる体育学習ができるであろう。
- (2) 自己の生活習慣や食生活を見つめ直し、健康によい生活の仕方や体によい食べ物を知ることによって、主体的に望ましい生活習慣や食習慣が身につく、たくましい体と心の備わった児童を育成することができるであろう。
- (3) 先人の伝記や自然、伝統と文化、スポーツなどを題材とした多くの資料を活用した道徳授業を実践することで、子どもたちの興味・関心を高め、自分を見つめ直すことや他者とのかかわりをもつことを通して「道徳性」を育むことができるであろう。

### 4 研究の視点

- (1) 一人一人がめあてを持ち、主体的に取り組む体育学習
  - ①児童一人一人の力に合っためあての設定
  - ②児童が主体的に取り組める場の工夫
  - ③コーディネーション運動の工夫（主運動へのつながり）
- (2) 主体的に望ましい生活習慣や食習慣を身につける食育指導
  - ①各教科や各領域などに関連して取り組む食育の工夫
  - ②地域人材（栄養士）を活用した幅広い授業形態・実践
  - ③家庭と連携した食育指導
- (3) たくましく優しい心を育む道徳学習
  - ①児童の興味・関心を高める題材・資料の活用
  - ②コミュニケーションを通して自尊心を育て、よりよい人間関係を築く力を育てる。
  - ③教育活動全体を通じた道徳指導の充実

### 5 研究方針

- (1) 全教師共通理解のもと、全教育活動を通して推進する。
- (2) 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、理論研究や実践を通して、授業改善を図る。
- (3) アンケート調査やデータ分析によって、実態を把握し実践活動に役立てる。
- (4) 低・中・高学年で計3回の授業研究を行い、指導力の向上と指導方法の工夫改善に努める。
- (5) 望ましい食習慣の形成のため、食育の授業実践に取り組む。
- (6) 原則として毎月第1、第3水曜日を校内研究の日とする。
- (7) 研究のまとめとして、取り組み内容、成果・課題をまとめる。
- (8) 運動に親しめる環境整備の充実や工夫を行う。
- (9) 幼稚園・中学校や他の学校との連携を図る。
- (10) 家庭・地域・PTAとの連携を図る。

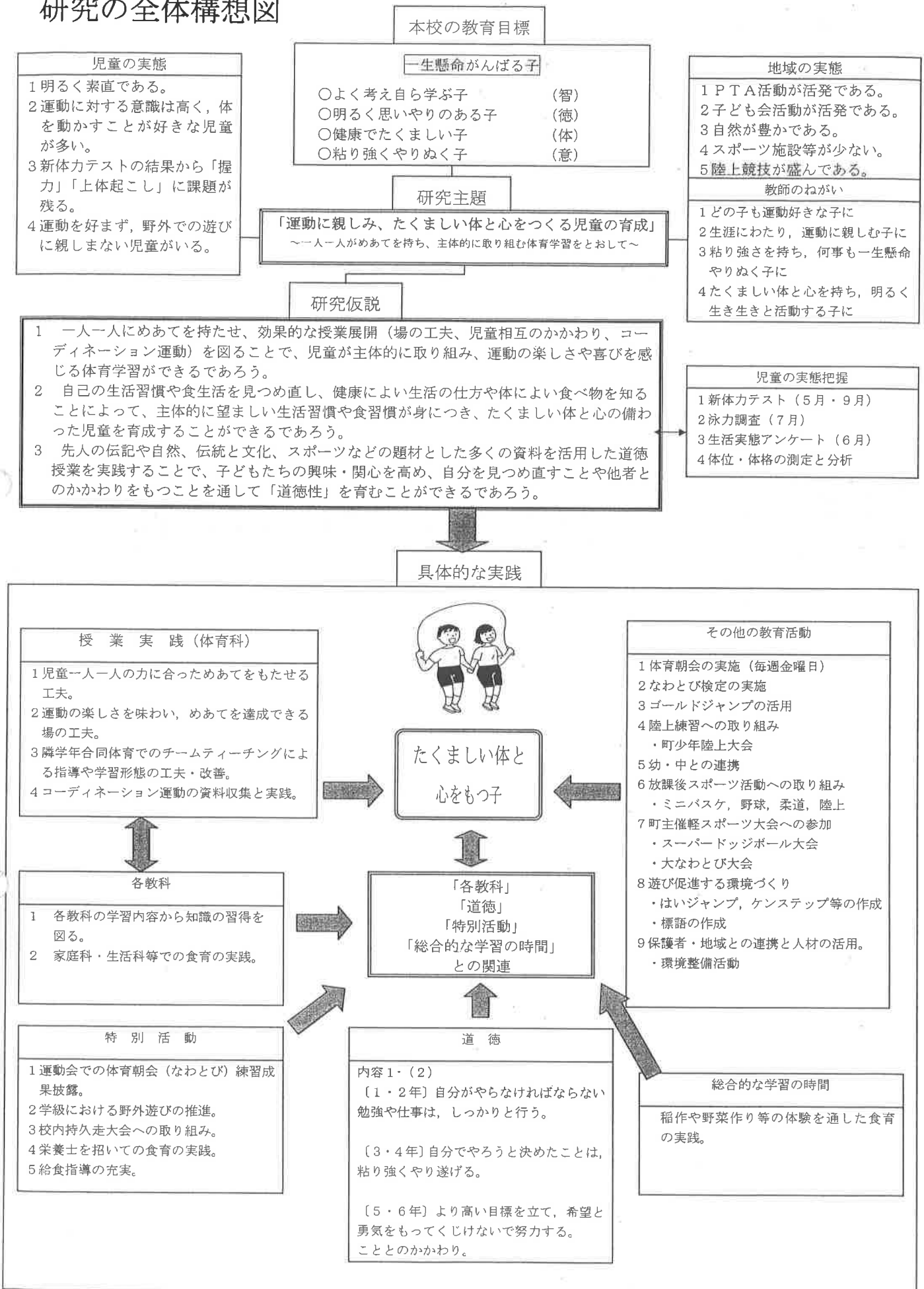
## 6 研究内容

平成二十年度（一年次）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 研究主題の達成を図るため組織的・計画的な研究体制を確立する。</li> <li>2 学習における基本的な考え方について理論研究会と授業研究会を実施する。</li> <li>3 研究授業を通して学習指導方法の工夫改善を図る。</li> <li>4 年間指導計画, 評価計画（評価規準）の見直しを図る。</li> <li>5 アンケート, 新体力テストの結果から, 児童の運動面や基本的な生活リズムの実態把握に努める。</li> <li>6 運動の継続化を図る工夫を隣学年で計画し, 次年度に一斉に取り組めるようにする。</li> <li>7 週行事や日課等を見直し, 業間体育等を設置する。</li> <li>8 竹馬やうんてい等遊びの環境を整備し, 遊びを通じた体力の向上を図る。</li> <li>9 校種間及び保護者・地域と連携した取り組みを図る。</li> <li>10 望ましい生活習慣の奨励に努め, 体力向上の工夫改善を図る。</li> <li>11 成果と課題から, 次年度への方向性を検討する。</li> </ol>
平成二十一年度（二年次）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 一年次の課題をもとに, さらに充実した学習の工夫・改善を図る。</li> <li>2 学習における基本的な考え方の理論研究と授業研究を深める。</li> <li>3 体力向上に結びつける取り組みの見直しを図る。</li> <li>4 研究授業を通して, 体育学習指導方法の工夫・改善に努める。</li> <li>5 アンケート調査により, 児童の実態把握に努めるとともに, 前年度との比較検討を行う。</li> <li>6 年間指導計画, 評価計画（評価規準）の見直しを図る。</li> <li>7 体育朝会を実施し, 全校の取り組みの輪を広げる。</li> <li>8 家庭, 地域での体力づくりの奨励を行う。</li> <li>9 体力向上の工夫・改善を図るために, 望ましい生活習慣・食育指導の充実を図る。</li> <li>10 「たくましい体と心をつくる」視点により, 児童の主体的な活動を計画・実践する。</li> <li>11 コーディネーション運動の導入と授業への活用を図る。</li> <li>12 地域人材リストの作成と活用を図る。</li> <li>13 二年次の発表会を持ち, 成果と課題から次年度への方向性を検討する。</li> </ol>
平成二十二年度（三年次）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 過去2年間の成果と課題をもとに, 学習指導の改善・充実を図る。</li> <li>2 体育学習における基本的な考えについて授業研究を深める。</li> <li>3 授業研究会を通して, 体育科学習指導方法の工夫・改善に努める。</li> <li>4 年間指導計画, 評価計画（評価規準）の見直しをする。</li> <li>5 体育朝会, なわとび検定を実施し体力の向上に取り組む。</li> <li>6 コーディネーション運動の理解を深め, 資料収集と授業での活用を図る。</li> <li>7 ハイジャンプ・平均台等遊びの環境を整備し, 遊びを通じた体力の向上を図る。</li> <li>8 地域人材リストを作成し活用する。</li> <li>9 校種間及び保護者・地域と連携した取り組みを図る。</li> <li>10 家庭・地域での体力づくりの日常化を図る。</li> <li>11 三年次の研究実践の発表会をもち, 研究成果を分析・考察し, 次年度に生かす。</li> </ol>

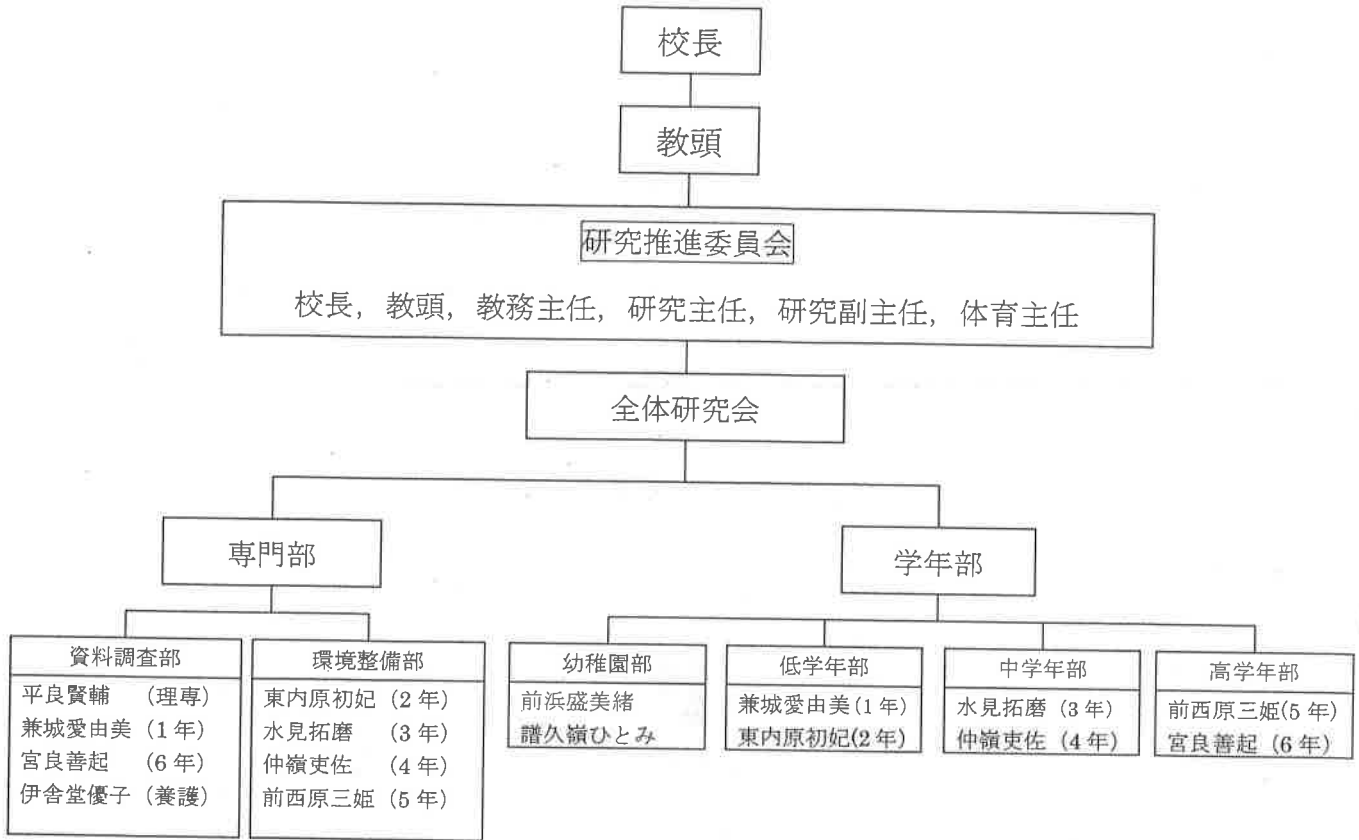
## H23年度の取り組み

- 1 推進校として3年間の取り組みの成果と課題をもとに、学習指導の工夫・改善を図る。
- 2 体育学習における基本的な考えについて授業研究を深める。
- 3 授業研究会を通して、体育科学学習指導法の工夫・改善に努める。
- 4 年間指導計画、評価計画（評価規準）の見直しを図る。
- 5 めあての持たせ方・場の工夫・コーディネーション運動を意識した体育授業を実践する。
- 6 望ましい生活習慣・食習慣を身につけさせるために、食育指導の充実を図る。
- 7 たくましい体と心を育むための道徳学習の充実を図る。
- 8 早朝マラソン、体育朝会、なわとび検定を実施し体力の向上に取り組む。
- 9 遊具などの環境を整備し、遊びを通じた体力の向上を図る。
- 10 校種間及び保護者・地域と連携した取り組みを図る。
- 11 家庭・地域での体力づくりの日常化を図る。

# 研究の全体構想図



# 研究組織図



## 組織の活動内容

組織名	活動内容	構成員
校長・教頭	全体総括・指導助言・渉外・交渉	校長・教頭
校内研究推進委員会	1 研究計画の企画,立案 2 研究の推進,各部への連絡調整 3 全体研究会の計画,運営 4 研究記録の整理,保管 5 招聘講師との連絡調整	校長 教頭 教務主任 研究主任 研究副主任
全体研究会	1 研究計画,研究内容の検討,確認 2 目標に準拠した評価の検討 3 研究授業及び授業研究会 4 全体的諸問題の討議,決定	全職員
各専門部	資料調査部	平良賢輔 兼城愛由美 宮良善起 伊舎堂優子
	環境整備部	東内原初妃 水見拓磨 仲嶺史佐 前西原三姫
各学年部	1 児童の実態の把握 2 指導方法の工夫改善 3 資料の活用,学習環境整備 4 研究授業の計画,実践,まとめ	各学年
幼稚園	小学校とのつながりを意識した研究と実践	幼稚園



## H23 年度 校内研修経過

回	期日	主な研修内容	
		校内研	学対
一学期			
1	4/5 (水)	○研究テーマ設定	
2	4/13 (水)	○研究内容の検討	○学対の取り組みについて
3	5/30 (月)	○出前授業 地図帳活用法(4～6年)	
4	6/1 (水)	○研究内容の確認	○学対の取り組みについて
5	6/8 (水)	○心肺蘇生法講習会	
7	6/15 (水)	○第一回授業研にむけて指導案検討 ○校内研専門部による話し合い	
8	6/28 (火)	○第一回授業研究会(高学年)	
9	7/6 (水)	○与中体育(食育)授業研究会参加	
夏休み			
10	7/21 (木)	○ネタ紹介(午後)	○基礎基本強化学習会①(午前)
11	7/22 (金)		○基礎基本強化学習会②(午前)
12	7/ 未定	○与那国の自然探索	
13	8/29 (月)	○伝達講習会(午後)	○基礎基本強化学習会③(午前)
14	8/30 (火)	○全体会(二学期の取り組みにむけて) ○専門部での話し合い	○基礎基本強化学習会④(午前)
二学期			
15	11/9 (水)	○第二回授業研にむけての指導案検討	
16	11/22 (火)	○第二回授業研究会(中学年)	
17	11/30 (水)		○県学力到達度調査(3・5年) テスト処理 15:30～
18	12/5 (月)	○第三回授業研にむけての指導案検討	
19	12/9 (金)	○第三回授業研究会(低学年)	
20	12/21 (水)	○全体会(三学期の取り組みにむけて) ○専門部での話し合い	
三学期			
21	2/22 (水)	○校内研究のまとめ(学年部・専門部)	
22	3/7 (水)	○校内研の成果・課題	

## 「運動に親しみ、たくましい体と心をつくる児童の育成」

～一人一人がめあてを持ち、主体的に取り組む体育学習をとおして～(5・6年)

沖縄県 与那国町立与那国小学校

教諭 T1 宮良善起

T2 前西原三姫

T3 平良賢輔

### 1 研究の目的

全国的に児童の体力低下が叫ばれる中、本学級においても、運動能力の高い児童、そうでない児童の二極化が顕著であり、今年度実施した体力テストの結果からもその様子をうかがうことができる。

こうしたことから、運動のもつ楽しさに触れ、かつ、自己の能力を伸ばすことのできる単元を設定することで、誰もが運動のもつ楽しさや仲間とのかかわりの中で感じる喜びを味わい、生涯スポーツの架け橋となる授業を展開したいと考えた。

本校は、県教育委員会指定「体育・スポーツ推進校」として、めあて学習、場の工夫、コーディネーション運動に重きを置き、研究を進めてきた。今年度、過去3年間の実践を踏まえた発展的な実践に取り組んでいる。

そこで、児童の能力に応じた水泳学習(克服型)の指導を展開することにより、どの児童も運動の楽しさを味わい、より意欲的に水泳学習に取り組むであろうと考えた。

本学級(5年12名、6年13名)の児童は、低学年の時から水遊びを経験し、体育学習の持つ「遊び」の部分にも十分触れることができたと考えている。

本単元では、水泳の特性を踏まえ、場の工夫やコーディネーション運動を取り入れる。そして、運動の持つ楽しさやおもしろさを追求させることで体育科の目標である「運動に親しむ資質や能力」が高まるよう工夫し、ねらいにせまりたい。

また、本単元終盤の、水辺活動では、個人が培ってきた能力を活かす海での実践的な活動を計画している。今回の授業を通し、水泳学習の魅力を十分に味わうことができ、誰もが達成感を得られるような授業を展開していきたい。

### 2 研究の仮説

- (1) 児童一人一人にめあてをもたせそれを達成させていくことで、児童が主体的に取り組む体育学習ができるであろう。
- (2) 場の設定を工夫し楽しみながら運動することで、自ら進んで運動に親む児童を育成することができるであろう。
- (3) 児童の課題をコーディネーション運動の視点からとらえ、変化のある反復の中で楽しみながら考えさせることで、児童の技能を向上させることができるであろう。

### 3 研究の内容

#### (1) 主題へのせまり方

本研究では主題を達成するための3つのキーワードを「めあての持たせ方」「場の設定」「コーディネーション運動」とし、上記の仮説を設定した。本授業では毎時間の始めにコーディネーション運動に取り組み楽しみながら体力的課題を克服したり、主運動に必要な運動感覚を養ったりしていく。4時間目以降では「めあて1」と「めあて2」を組み合わせたスパイラル型の学習を仕組み、児童一人一人の体力に合った

めあてを設定できるよう促し、達成感を味わわせ主体性を引き出していきたい。児童一人一人に合っためあてを持たせるために重要になってくるのが場の設定である。児童が、楽しみながらめあて達成できる場を設定し、運動に進んで親しむことができれば、本研究主題である運動に親しみ、たくましい体と心をつくる児童の育成につながると考えた。

## (2) 研究仮説の具体的な手立て

ア 一人一人にめあてを持たせそれを達成させていくことで、児童が主体的に取り組む体育学習ができるであろう。

(ア) 2～3時間目ではステージ型の学習でしっかりと技を習得する時間を確保し、4時間目以降では児童一人一人が自分のめあてを設定し自主的に学習に関わっていけるようにする。

(イ) 4時以降では「めあて1」と「めあて2」をたてさせスパイラル型の学習をすることにより、距離や速さに挑戦したり、できそうな泳ぎ方に挑戦したりできるようにする。

イ 場の設定を工夫し、運動の楽しさや技ができる喜びを味わわせることで、自ら進んで運動に親しみたくましい体と心をつくる児童を育成することができるであろう。

(ア) 児童の興味・関心、技能、体力、理解力に合った運動の場を設定し、自分の課題に適した練習を選択できるようにする。

(イ) 場は、児童の実態、興味・関心の変化に合わせて設定していく。

ウ 児童の課題をコーディネーション運動の視点からとらえて反復することで、楽しみながら技能を向上させることができるであろう。

(ア) 児童の課題をコーディネーション運動の視点からとらえ、課題克服に必要な運動の資料を児童に提示して、自分の体力の課題を意識して運動に取り組めるようにする。

(イ) 変化のある反復を工夫し楽しみながら考える活動を通して、運動技能を向上させるためのレディネスを形成することができるようにする。

(ウ) 自分のめあてを達成するために必要な運動を選択できるようにする。

## (3) 本単元における指導の留意点

ア 自己のめあての設定

自分の能力にあっためあてを立てさせるように支援したい。また、同じ課題に取り組む仲間と共に、学習できる環境を作っていきたい。

イ デジタル機器の活用

児童は、つまづきを仲間や教師から客観的に伝えてもらうことはできる。しかし、実際には、そのイメージ化には時間がかかる。そこで、児童のつまづいているシーンを動画や写真として残し、その場でフィードバックさせることで、つまづきにいち早く気づき、課題解決につながる支援をしていきたい。

また、デジタルコンテンツの活用を図り、「自己や仲間の泳ぎ方」と「合理的な泳ぎ方」を比較することで、課題解決を促していきたい。

本単元の期間中は常に児童が、学級やプールサイドで「自己や仲間の泳ぎ方」「合理的な泳ぎ方」が視聴できる環境を設定する。

ウ 水辺活動の取り組み(14・15時)

本単元の発展的な取り組みとして、水辺活動を行うこととした。沖縄県は周りを海に囲まれ、身近に海を感じる事ができる環境にある。その反面、海での事故に遭う機会も少なくない。そこで、水泳学習の終盤に、水難事故に遭った時の対応の仕方や心肺蘇生法、着衣泳等、命を守る泳法習得の授業を計画した。

また、これまで水泳学習で培った力を発揮し、遠泳・シュノーケリングにもチャレンジさせ、泳ぐことの楽しさ、大切さを再実感させたい。また、危険が伴う取り組みであるため、十分に安全面に留意しながら取り組む。

(4) 学習のねらいと道すじ

ア 学習のねらい

できる泳ぎ方で、距離や速さに挑戦したり、できそうな泳ぎ方に挑戦したりして楽しむ。

イ 学習の道すじ(時間配分)

・水泳の約束を守り、安全に気をつけて学習する。毎時間「めあて1」を十分に行った後「めあて2」に進む。

・自分の力に合っためあてを決めて学習する。合図があったらすばやくバディを組み、人数を確かめ、めあてが同じ人と練習する。

〈めあて1〉

今できる泳ぎ方で、距離や速さに挑戦して楽しむ。

〈めあて2〉

やってみたい泳ぎ方に挑戦し、ある程度続けて泳いで楽しむ。

(5) 時間配分

学習活動と内容 『目指せ海猿, 国境警備隊』							
	第1次		第2次				第3次
	①	②③	④⑤	⑥⑦	⑧⑨	⑩⑪	⑫⑬
0          45	○オリエンテーション  ○学習の流れ確認  ○デジタルコンテンツの活用方法確認	一斉指導  基礎基本の再確認 け伸び ポビング バブリング クロール 平泳ぎ 背泳ぎ等	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">準備運動・コーディネーション運動・めあての確認・自己泳力確認</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">はじめのめあて1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">新しいめあて1</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: center;">↗</div> <div style="text-align: center;">↓</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">はじめのめあて2</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">新しいめあて2</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">泳力調査(練習成果の確認)</div>				水辺活動 着衣泳 心肺蘇生法 遠泳 シュノーケリング体験
学習の振り返り・学習のまとめ・次時の活動の確認・集合・挨拶・用具の片づけ・(学習ノートの提出)							

(6) 水泳の評価規準

水泳の学習目標	関心・意欲・態度	思考・判断	技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の力にあった課題をもって進んで泳ぐ組み、泳ぐことの楽しさを味わおうとする。</li> <li>友達を励まし合い、教え合いながら協力して練習しようとする。</li> <li>自分の体の調子を確かめるとともに、プールサイドを走らない、準備運動を行うなどの水泳の決まりや水泳の心得を知り、安全に気をつけようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>泳ぎ方や目標課題など自分にあった課題を持ち、その課題に向けての練習の仕方を決める。</li> <li>学習カードや補助具を活用して、自分の得意な泳ぎ方をできるようにするための練習方法や泳ぎの技のポイントをわかっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クロールについて、呼吸をしながら泳いで長く泳ぐことができる。</li> <li>平泳ぎについて、呼吸をしながら泳いで長く泳ぐことができる。</li> </ul>	

(7) 学習における具体的評価規準と評価計画

観点	単元の評価規準	6年 学習活動における具体的評価規準					評価方法	② 3時	③ 4時	④ 5時	⑤ 6時	⑥ 7時	⑦ 8時	⑧ 9時
		A 基準 (十分満足できる)	B 基準 (ほぼ満足できる)	努力を要する子への手立て	評価方法	学習カード								
関心・意欲・態度	①泳ぐことの楽しさを味わうために、自分の力に合った課題を持って進んで泳ぐ組もうとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標泳の記録やストローク数を記録したりして、楽しさを広げようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の得意なことを活かして、水泳を楽しませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の得意なことを活かして、水泳を楽しませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>努力を要する子への手立て</li> </ul>	行動観察 学習カード								
	②友達と励まし合ったり、補助し合ったりするなど協力して練習しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達を励まし、仲間意識を高め、泳ぐ楽しさを共有している。</li> <li>友達と学び合い、互いのよさや上達を伸ばしながら、泳ぐ楽しさを共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と励まし合い、協力して活動しようとしている。</li> <li>友達と学び合い、協力して練習しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と励まし合い、協力して活動できるよう声かけする。</li> <li>友達と学び合い、協力して練習できるよう声かけする。</li> </ul>		行動観察 学習カード								
	③プールサイドを走らない、準備運動を行うなど、水泳プールのきまりや水泳の心得を守り、安全に気をつけようとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>準備運動をすすんで行い、シャワーを浴び、プールサイドを走らない等、安全、衛生的な泳ぎ方をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プールのきまりを守り、安全に水泳の学習に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プールのきまりを守り、安全に水泳の学習に取り組むことができるよう声かけする。</li> </ul>		行動観察 学習カード								
	④記録会を行うために、準備や運動にすすんで参加しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録会をすすんで準備し、役割分担に従って、協力的に参加しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録会を計画し、自分の役割を果たそうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の役割を果たせるよう声かけする。</li> </ul>		行動観察 学習カード								
思考・判断	①泳ぎ方や目標課題、自分の力に合った課題を選ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の目標を持ち、泳力に合った課題を学習資料、デジタルコンテツ、練習事項をもとに考え、見直しを持って学習を立ることができ、</li> <li>学習計画をもとに、疑問の課題を修正しながら、練習方法を工夫して学習を進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が合った目標を持ち、課題や練習方法を学習資料やデジタルコンテツから選び、学習計画を立てることができ、</li> <li>学習計画をもとに、自分に合った練習方法を学習を進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が合った目標を持つよう、課題や練習方法を学習資料やデジタルコンテツから選び、学習計画を立てることができ、</li> <li>学習計画をもとに、自分に合った練習方法を学習を進めることができるよう声かけする。</li> </ul>	行動観察 学習カード									
	②泳ぎの技のポイントをわかるとともに、自分の泳ぎに合わせた泳ぎ方を工夫する	<ul style="list-style-type: none"> <li>泳法のポイントがわかり、自分の泳ぎや友達への助言を活かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>泳法のポイントを理解して練習している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>泳法のポイントを理解させ、練習させる。</li> </ul>		学習カード								
	③自己の泳ぎの楽しさを味わい、泳力向上を工夫する	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じ課題をもった友達と協力し、課題意識を持ち、見直しをもって楽しさを広げる活動をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じ課題をもった友達と協力し、楽しさを広げる活動に取り組もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じ課題をもった友達と協力し、楽しさを広げる活動に取り組ませる。</li> </ul>		発言 学習カード								
技能	①クロールで、呼吸をしながらある程度泳ぐことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>伸びのあるクロールで、長く泳ぐことができる。</li> <li>(6年 50～100m)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クロールで呼吸をしながらある程度長く泳ぐことができる。</li> <li>(6年 2.5～5.0m)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クロールで呼吸をしながらある程度長く泳ぐことができる。</li> <li>(2.5m未満)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クロールの泳法確認や呼吸の仕方を学習資料やデジタルコンテツを使い、確認させ練習させる。(2.5m未満)</li> </ul>	行動観察 学習カード								
	②平泳ぎで、呼吸をしながらある程度泳ぐことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>伸びのある平泳ぎで、長く泳ぐことができる。</li> <li>(6年 50～100m)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平泳ぎで、呼吸をしながらある程度長く泳ぐことができる。</li> <li>(6年 2.5～5.0m)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平泳ぎの泳法確認や呼吸の仕方を学習資料やデジタルコンテツを使い、確認させ練習させる。(2.5m未満)</li> </ul>		行動観察 学習カード								
	③背泳ぎで、ある程度泳ぐことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>伸びのある背泳ぎで、長く泳ぐことができる。</li> <li>(6年 50m以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>背泳ぎで、ある程度長く泳ぐことができる。</li> <li>(6年 2.5m)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>背泳ぎの泳法確認や呼吸の仕方を学習資料やデジタルコンテツを使い、確認させ練習させる。(2.5m未満)</li> </ul>		行動観察 学習カード								

観点	5年 学習活動における具体的評価規程				評価方法	8時	9時	10時	11時	12時		
	A. 基準 (十分満足できる)	B. 基準 (ほぼ満足できる)	努力を要する子への手立て									
関心・意欲・態度	①泳ぐことの楽しさを味わうために、自分の力に合った課題を持って進んで取り組もうとする。	・学習の進め方がわかり、距離や泳法について、自分の目標を明確に持ち、進んで取り組もうとしている。 ・自分のできることを活かして泳を楽しめるとともに、楽しみを広げようとしている。	・学習の進め方を理解し、自分の目標を持って進んで取り組もうとしている。 ・自分のできることを活かして、泳を楽しめようとしている。	・自分の目標を持たせ進んで取り組ませる。 ・自分のできることを活かして、泳を楽しませる。	行動観察 学習カード							
	②友達と励まし合ったり、補助し合ったりするなど協力して練習しようとする。	・友達とたくさん声かけをしたり、自分の役割を考えながら、活動を楽しくするために、努力しようとしている。 ・友達と励まし合い、助言されたこと活かしながら、泳力を伸ばそうとするともに、叱言や補助を進んで行い、協力して練習しようとしている。	・友達と励まし合い、協力して活動しようとしている。 ・友達と励まし合ったり、補助をし合ったり、教え合ったりするなど、協力して練習しようとしている。	・友達と協力して活動させる。 ・友達と励まし合ったり、補助をし合ったり、教え合ったりするなど、協力して練習させる。	行動観察 学習カード							
	③プールサイドを走らない、準備運動を行うなど、水泳プールのままよりや水泳の心得を守り、安全に泳ぎをつけようとする。	・準備運動を行う、シャワーを浴びる、プールサイドを走らない等の安全・衛生に気をつけようとしている。	・準備運動、シャワーを浴びる、プールサイドを走らない等、安全・衛生に気をつけようとしている。	・準備運動、シャワーを浴びる、プールサイドを走らない等、安全・衛生に気をつけさせる。	行動観察 学習カード							
学習・問題	①泳ぎ方や目標設定、自分の力に合った課題を選ぶ。	・自分に合った課題や練習方法を学習資料やデジタルコンテンツから選び、見直しを持って学習面を立てることができる。 ・学習計画をもとに、学習資料や準備運動の学習から、自分の力に合った課題や練習方法を選んで学習を進めている。	・自分に合った課題や練習方法を学習資料やデジタルコンテンツから選び、学習計画を立てることができる。 ・学習計画をもとに、自分の力に合った課題や練習方法で学習を進めている。	・自分に合った目標を持つよう、課題や練習方法を学習資料やデジタルコンテンツから選び、学習計画を立てよう考えさせる ・学習計画をもとに、自分の力に合った課題や練習方法で学習を進めさせる。	行動観察 学習カード							
	②学習カードや補助具を活用して泳ぎのポイントがわかる。	・泳法の基本的な動作ポイントがわかり、自分の泳ぎに活かそうとしている。 ・同じ課題をもった友達と協力し、課題意識を持ち、勇進しをもって楽しさを広げる活動工夫している。	・泳法の基本的な動作ポイントがわかる。 ・同じ課題をもった友達と協力し、楽しさを広げる活動に取り組みようとしている。	・泳法の基本的な動作ポイントを理解させ、練習させる。 ・同じ課題をもった友達と協力し、楽しさを広げる活動に取り組ませる。	行動観察 学習カード							
	③クロールで、呼吸をしたながらある程度泳ぐことができる。	・クロールで、呼吸をしたながらある程度泳ぐことができる。 ・仰ぐのあるクロールで、続けて泳ぐことができる。 (5年 50以上)	・クロールで呼吸をしながらかある程度長く続けて泳ぐことができる。 (5年 25m以上)	・クロールの泳法確認や呼吸の仕方を学習資料やデジタルコンテンツを使い確認させる。 (25m未満)	行動観察 学習カード							
技能	②平泳ぎで、呼吸しながらある程度泳ぐことができる。	・仰ぐのある平泳ぎで、続けて泳ぐことができる。 (5年 50以上)	・平泳ぎで、呼吸をしたながらある程度長く続けて泳ぐことができる。 (5年 25m以上)	・平泳ぎの泳法確認や呼吸の仕方を学習資料やデジタルコンテンツを使い確認させる。 (25m未満)	行動観察 学習カード							
	③背泳ぎで、ある程度泳ぐことができる。	・仰ぐのある背泳ぎで、続けて泳ぐことができる。 (5年 25～50m)	・背泳ぎで、ある程度長く続けて泳ぐことができる。 (25m)	・背泳ぎの泳法確認や呼吸の仕方を学習資料やデジタルコンテンツを使い確認させる。 (25m未満)	行動観察 学習カード							

(8)単元の学習活動と評価の計画

時 間		学 習 活 動	評 価 方 法 と 場 面	教 師 の 支 援
第1次	オリエンテーション ①	オリエンテーション ・学習のねらいや進め方を知る。 ・安全についての約束やマナーについての確認をする。	行動観察 学習カード	○児童達が進んで取り組めるように学習の資料を準備する。 ○学習していく泳法の種類と名前を教える。
	基礎基本の習得 ② ③	・コーディネーション運動 ・け伸び、息つき、バタ足等、動画コンテンツを活用しながら「合理的な泳ぎ方」に挑戦する。	行動観察 学習カード	○能力が同じの児童同士で活動できるようにする。 ○つまづいている児童には資料、VTR、デジタルコンテンツで自分の欠点に気づかせ、泳法の習得に必要なポイントをおさえる。 ○安全に気をつけて学習させる。
第2次	自分の課題に挑戦 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬	・コーディネーション運動 (洗濯機 水中ジャンケン ポビング 壁つかみ バタ足バタ平 潜水艦け伸び キック相撲等) ・めあて1 今できる泳ぎ方で、距離や速さに挑戦して楽しむ。 ・めあて2 やってみよう泳ぎ方に挑戦し、ある程度続けて泳いで楽しむ。	行動観察 学習カード	○能力が同じの児童同士で活動できるようにする。 ○コーディネーション運動時にめあてにつながる運動を取り入れさせる。 ○つまづいている児童には資料、VTR、デジタルコンテンツで自分の欠点に気づかせ、泳法の習得に必要なポイントをおさえる。 ○安全に気をつけて学習させる。
第3次	水辺活動 ⑭ ⑮	・心肺蘇生法講習 ・遠泳 ・シュノーケリング体験	行動観察 児童発言	○安全に気をつけ心肺蘇生法について学習させる。 ○自分の泳力に合ったコースで遠泳に挑戦させる。 ○安全に気をつけ、シュノーケリング体験させる。 ○安全に気をつけて学習させる。

(9)本時の学習活動と教師の支援・評価 ( 12・13/15 )

ア 学習のねらい

(ア)水泳の心得やきまりを守り、水にもぐったり浮いたり、呼吸法を身につけて長く泳いだり、できそうな泳ぎ方に挑戦したりして楽しむ。

めあて1:今できる泳ぎ方で、距離や速さに挑戦して楽しむ。

めあて2: やってみたい泳ぎ方に挑戦し、ある程度続けて泳いで楽しむ。

(イ)お互いに教え合い、励ましあって水泳学習を楽しむことができる。

イ 授業仮説

(ア)コーディネーション運動で基礎感覚づくりに取り組むことや、各自の能力に合わせグループ別指導を行うことにより、それぞれの能力を伸ばすことができるであろう。

(イ)デジタルコンテンツの活用を図り、「自己や仲間の泳ぎ方」と「合理的な泳ぎ方」を比較することで、自分にあつためあての設定や泳法の習得がスムーズになり、主体的に学習に取り組むことができるであろう。

ウ 準 備



ホイッスル、タイマー、ビート板、指導用ボード、スモールステップ表、パソコン、防水カメラ(XCTY)

エ 展 開

	学習のねらいと活動	○教師の支援			◆評価
		T1 カジキ	T2 カツオ	T3 グッピー	
開始前	・健康観察 ・準備運動	○人員の確認と健康観察，準備運動を行い安全に留意すべきことを確認する。			
はじめ(15分)	1コーディネーション運動 ・ボビング ・かべつかみバタ足 ・カエル足 ・潜水艦け伸び ・キック相撲	○主運動に必要な基本的な動きを意識させる。 ○仲間と調子を合わせたり，リズムよくできるよう声かけをする。 ○支援が必要な児童と共に運動を行う。			◆友達と励まし合い，協力して活動している。  ◆クロール，平泳ぎ，背泳ぎ等で，ある程度続けて泳ぐことができる。
	2自己の泳力確認 ・泳法のポイントを確認しながら 25m泳ぐ。 ・バディを組ませ，お互いの動きをチェックし合いアドバイスをさせる。	○それぞれの泳法のポイントをおさえ取り組ませる。 ○泳法のポイントを意識するよう声かけをする。 ○バディを組ませ，互いに動きをチェックしアドバイスさせる。			
	3めあてと本時の学習を確認	○めあての確認とともに本時の学習を確認する。			
めあて1:今できる泳ぎ方で,距離や速さに挑戦して楽しむ。					
なか(20分)	4「めあて1」の解決 ・自分の目標を確認し，それぞれのバディで練習に取り組む。	T1 カジキ 速さに挑戦	T2 カツオ 距離に挑戦	T3 グッピー 基本的な動作の確認	◆友達と学び合い，協力して練習をしようとしている。
		○呼吸練習，フォームチェック，いろいろなリレー等，基本的な練習の後，バディとのめあてに沿った練習をさせる。	○バタ足，ビート板バタ足，面かぶりクロール，呼吸の仕方，泳ぎのリズム等，基本的な練習の後，バディとのめあてに沿った練習をさせる。	○顔つけ，ふし浮き，け伸び等，基本的な練習のめあてに沿って練習をさせる。 ○け伸びからバタ足，一連の動きを練習させる。	
休 憩 (5 分)					
○休憩時間を利用しクロール・平泳ぎ・背泳ぎのポイントを実演する。T2:ポイント解説 T1:クロール・背泳ぎ T3:平泳ぎ					





めあて2: やってみたい泳ぎ方に挑戦し, ある程度続けて泳いで楽しむ。					
なか②(40分)	5「めあて2」の解決 ・学習進度表にネームカードをはる。 ・自分の課題に合った場や補助具を選び, 課題解決に取り組む。 ・同じめあての仲間と学び合ったり見合ったりして協力する。 	T1 カジキ クロール・背泳ぎ	T2 カツオ 平泳ぎA	T3 グッピー 平泳ぎB・バタ平	◆泳法確認や呼吸の仕方を学習資料やデジタルコンテンツを使い自分の泳ぎ方に活かすことができる。 ◆泳法のポイントを理解し練習することができる。 
		まとめ(10分)	6泳力調査 7整理運動 8今日の反省の発表 (教室で学習ノートの整理)	○パドルを使い水をキャッチする感覚を身に付けさせる。 ○呼吸のリズムに気をつけさせる。 ○スタートで壁を思いっきり蹴るようにさせる。 ・ターン ・色々なリレー	

#### (10) 評価

ア水泳の心得やきまりを守り, 水にもぐったり浮いたり, 呼吸法を身につけて長く泳いだり, できそうな泳ぎ方に挑戦したりして楽しむことができたか。

イお互いに声を掛け合い, 励ましあって水泳学習を楽しむことができたか。

#### 4 研究の結果と考察

##### (1) 成果

○コーディネーション運動を取り入れることにより, ふし浮き, け伸び等基本の動きを楽しみながら習得することができた。

○デジタルコンテンツの活用により, より具体的なめあてを立てることができたり, 合理的な泳ぎ方を意識し練習に取り組んだり, 仲間同士で的確な声かけをしたりすることができた。

○防水カメラの活用により, 自己の課題をその場でフィードバックすることができ, 課題の解決につなげることができた。

○ほぼ全員が新しい泳ぎ方に挑戦し, 自己の目標達成をすることができた。

##### (2) 課題

○仮説2の実践が少し弱かった。

○2時間連続の授業だったため見学者にとっては入水機会の減少につながってしまった。

○コーディネーション運動のバリエーション収集と活用方法の研究

## ○授業の様子



コーディネーション運動として、大型のストレッチロール板やビート板を使ってのバタ足相撲



パソコンを使って自分のフォームやお手本の泳ぎをチェックする。



TT による授業で、一人一人にきめ細かい指導ができました



授業のまとめでは、授業をふり返り、めあてが達成できたかどうかや友だちのよさなどを発表できました。

## H 2 3 第一回研究授業反省

体育学習 高学年 単元「水泳」

### 1 めあての持たせ方

#### (1) 成果

- ①全員が楽しく自主的に一生懸命取り組んでいた。
- ②毎時間学習カードに具体的な「めあて」（距離、タイム）とそのためのポイントが書かれてあるので、子ども達の中でこの時間で何をやるのかが明確にとらえられていた。
- ③5 ページの時間配分で「はじめのめあて1」⇒「新しいめあて1」という書き方が技術の向上にあわせてめあてが変化していく様子が伝わりよいと思った。
- ④一人一人が自己の課題がわかり、課題を克服するために練習をどのように行うか明確にもっていることがわかった。
- ⑤学年に応じて泳法の技能が向上しているのがわかり、バタ平から平泳ぎ、クロール、背泳ぎへの発展つながりがみえた。
- ⑥泳いでいる児童に教師が「手をまっすぐに・・・」「足がバタバタ・・・」「パツ、パツ」など声をかけているので、これが児童の課題になっている「めあて」と思った。
- ⑦児童は教師のアドバイスはげましをよく聞いていた。
- ⑧距離や速さ、泳法に目を向けた目標を発表していたので、これまでの指導がよかったと思いました。特にワークシートへの先生からのコメントがいいなと思います。
- ⑨長い距離を泳ぐためのバタ足、速さを出すバタ足の違いを映像で確認させることでめあてをたて直している子もいました。

#### (2) 課題・アドバイス・質問等

- ①めあて②（発展学習？）が年計の④次から⑬次まで計画されているが、めあて①のクロール、平泳ぎをより正確に、より速く、より長く広げていって可能だろうか？（子どもの泳力の実態を把握していないので私案ですが？）
- ②長い距離を泳ぐためのバタ足と速さを出すためのバタ足の違いを映像で確認させていましたが、違いが少し分かりづらかった気がします。（特に6ビートと4ビート）

### 2 場の工夫

#### (1) 成果

- ①コースロープ（すずらんテープとペットボトルでつくったもの）は準備が簡単でよいと思いました。
- ②T1～T3までの動きや子どもへの関わりがはっきり分けられていてよかった。
- ③子ども達の能力に合ったコースづくりで子ども達が泳ぎやすいコース設定になっていた。
- ④児童がまよわずスムーズに動いている様子から場の設定がよく工夫されていると思いました。

#### (2) 課題・アドバイス・質問等

- ①ビニールのコース分けは工夫しておもしろかったけど、風にゆられて泳ぎ手にわかりづらかったのでは？  
巻かれてあった本物を使ったら時間がかかりすぎなんだろうか？
- ②児童の泳力が高かったので、25mのレーンごとのコースわけでよいと思うが、中学年では、レーン以外の区切り方も考えてよいかと思いました。

裏面へ

③児童のめあてがけっこう具体的に立てられているので、A（距離）B（速さ）C（泳法）と「めあて2」のときに、グループを変えて活動も可能なのかなと思いました。

### 3 コーディネーション運動

#### (1) 成果

- ①楽しくコーディネーションができてよかった。充実していた。キック相撲とか、大きなマットを利用したバタ足は真剣に取り組んでいた。
- ②潜水艦けのびや水中じゃんけん、キック相撲など基本の動きにバリエーションをもたせ、楽しみながら繰り返し取り組めるようになっていたのがよかったと思います。コーディネーションの要素として、変化のある反復があるので、この部分に合っていると思いました。
- ③水の中でのコーディネーションはどんなものがあるかとても興味があったが、水中ジャンケン、ボビング、また下くぐり潜水、バタ足相撲など、多種の動きがみられてよかった。
- ④どの動きもスムーズで、とても参考になりました。
- ⑤ボビング（呼吸）、け伸び（水中姿勢）、バタ足と水泳での基本動作での準備運動となっていたし、児童も楽しんでいる様子で良かったです。

#### (2) 課題・アドバイス・質問等

- ①研究仮説③の児童の課題とは、児童一人一人の個人内での課題でしょうか？それとも教師側からとらえた全体の課題でしょうか？教師側からの課題とすると、どんな課題としてとらえていますか？

### 4 その他

#### (1) 成果

- ①子ども達がとてもおもしろいと感じました。はしゃぐ子もいないし、自分勝手な行動をする子もいないので安全な集団として活動ができていると感じました。
- ②子ども達が良い泳ぎ方を身につけてきているので、すごい上達ぶりにびっくりです。
- ③教師の指示が的確で徹底した学級指導の様子がうかがえました。「ペアいますか」「走らないでいいけど急いで」「つかれている休みながら」Tの位置など安全に配慮した言葉かけがとても良かったです。
- ④子どもから「がんばれ がんばれ」の声がよかった。
- ⑤これほど泳げるとは思いませんでした。とても驚きました。授業おつかれさま ありがとうございます。

#### (2) 課題・アドバイス・質問等

- ①授業仮説②の実践が少し弱い印象でした。
- ②子ども達は、クロールが全体的に上手だと思いましたが、呼吸の時に腕が上がっている子が多かったように感じました。また、平泳ぎが自己流の子が多いので、このあたりの指導も見てみたかったです。
- ③レジャープールではなく教育用の水泳プールなのでプール専用の水着があった方が？
- ④見学している児童の様子が気になりました。見学用のワークシートも準備されていましたが、タイムを計る以外おしゃべりをしていたので・・・
- ⑤指導案の中でそれぞれのグループに先生がついていましたが、場面によってグッピーに先生が集まり個人指導をする場面もありました。本時の中に明記してもよいと思います。
- ⑥見学の子の動きが気になった。T-1が下位の子への指導を行っているとき、上位の子はひたすら泳いでいるので、その子たちへの声かけを見学の子たちに上からさせてもよいかも・・・カメラの撮影や見るポイントを教えて「あご」「手」「まっすぐ」などポイントを声かけさせてもいいかも

# 道徳学習指導案

平成23年11月22日(火) 5校時  
与那国町立与那国小学校 4 学年  
男子 4名 女子 9名 計13名  
授業者 : 仲嶺 吏佐  
共同研究者 : 水見 拓磨

- 1 主題名 生活チェックで自分づくりを ( 関 連 ) 1 - ( 1 ) 自立, 思慮, 節制  
1 - ( 4 ) 明朗, 誠実, 反省
- 2 資料名 チェック チェック チェック! 【 出 典 】 みんなで考える道徳 (日本標準)  
絵本「大きくなるってことは」 中川ひろたか 文 童心社 発行

## 3 主題設定の理由

### (1) ねらいとする価値について

学習指導要領第3章道徳の内容の第3節の内容項目の指導の観点の第3学年及び第4学年の内容の1 「主として自分自身に関すること」の(1)に「自分でできることは自分でよ  
り,よく考えて行動し,節度のある生活をする。」とある。中学年においては,今まで以上に自らの行動について考えることができるようになってくる。そこで,他から言われるのではなく,自ら考えて度を超さない節度ある生活ができるよう,また,自己の成長を確かめられ,学習面・生活面における自立度合いをチェックしていきたい。

(4)では「過ちは素直に改め,正直に明るい心で元気よく生活する。」とある。過ちを犯した時には素直に反省し,すぐにでも正直に伝えるなどして改めようとする気持ちを育み,子ども達それぞれが元気よくたくましく生活・成長できようにしていきたい。

自立・節制は,この時期の児童にとって,とても大切な価値であり,誕生してちょうど10年を迎える子ども達に人生の節目として自分自身のことを見つめ直し,自分史を作成する手立ての一つとしたい。

また,自立・節制を考えてみるという機会を意図的につくり,自立の要素として,身辺自立と精神的自立(自律)・社会生活の中での自立があり,それらが,対人関係(社会生活)の中でも重要な要素となることを気づかせたい。

### (2) 児童の実態

昨今の子ども達は,自分のことを自分でするとういうことができていることが多い。

具体的には,物の扱い,管理などによく現れるが,対人関係の中にも現れ,他者との関係を結ばず,自分の責任を果たせないこともよく見かける。

本学級の児童は男子4名,女子9名と男女比率においては女子が圧倒的に多い。男女の仲は良く,休み時間ともなるとみんなで校庭の遊具で遊んだり,ボール遊びをしたりする姿が良く見られる。学習面においては学習支援を必要とする子が1名いる。学級内においては学習面・運動面・生活面において,この子をサポートする場面が多々みられる。

また,身辺の整理整頓や時間の調整をできない子がおり,帰宅したあと,宿題や家庭学習をほとんどやらないため,放課後や休み時間での指導を行っている。

葉の強い児童が仲間はずれをしたりすることが起き始めている。

そのことから、「自立」とは自分自身をつくっていくことで、それがよりよい人間関係をつくることにもつながっていくことに気づかせたい。

(3) 資料について

本資料の「生活チェック」は、二択クイズの形式で児童が興味をもって自分の自立度をチェックできる。さらに、資料の設問15以外にも学習・運動面の内容を付け加えて設問を25程度にまとめ、ひとつひとつの設問について話し合いながら、自己の成長を確かめさせたい。

「こんな時、あなたなら」では、日常起りそうな場面を想定又は実際に起きたことから内容を設定し、自分がその場面に出会ったら、どのように考え、どのように行動していくのかを個々に考えさせ、意見の交換を行うディベート方式で話し合わせる。それによって、自分のことを自分で決めるということの大切さに気づかせたい。

終末では絵本「大きくなるってことは」を読み聞かせ、自分が成長していることを気づかせるようにする。

(4) 指導について

〈 事前指導 〉

① 国語科において、話し合い活動の学習を事前に行う。

※ディベート方式の話し合い活動で、児童が自分の行動とその根拠をきちんと話せるように指導する。

② 特活において計画している、「二分の一成人式」に向けて、自分史を作成する活動の内容とリンクさせて指導していく。

③ 保護者に協力を依頼、児童の「誕生」「保育園時代」「幼稚園時代」「小学校入学時」「現在」の視点で成長の様子が見える写真とコメントを準備してもらう。

④ 「生活チェック」を事前に行う。

〈 本時指導 〉

① 「生活チェック」を数値で評価することで、自己の自立度合いを知り今後の学習や生活を見直し、新たな目標を持てるようにする。

② 「こんな時、あなたなら」の資料を読み、自分の意見や実際にとる行動を考えさせ、他者との意見の違いを話し合わせる。

それと同時に、相手の価値観や人格を否定しない自己表現ができるよう、論点をはっきりさせる指導を心がけたい。

〈 事後指導 〉

① 心のノート(12～15P)の「ふみ出そう ひとり立ちへの たしかな歩み」で振り返りを行う。

② 自分史を完成させる。

③ 二分の一成人式へ向け計画をたてて行く。

④ 10年後の自分への手紙を書く。

(5) 人材活用について

本授業においての人材活用は保護者となる。自分史を作成するための資料として、保護者に依頼し、児童の「誕生」「保育園時代」「幼稚園時代」「小学校入学時」「現在」の視点で成長の様子が見える写真とコメントを準備してもらう。

4 総合単元構成 (全体構想図)

各教科	道徳	特活・総合的な学習	日常活動・行事
<p><b>国語</b> (話すこと・聞くこと) ○話し合いのしかたについて考えよう ・よりよい学級会をしよう。 ・話す言葉は同じでも</p>	<p>自分のことを伝えよう 「10 わたしのレシピ」 1-(5) 個性の伸長 自分の良さを知り、自分らしさを大切に、前向きに節度ある生活をしようとする態度を育てる。</p>	<p><b>特活</b> 新4年生の出発</p>	<p>・始業式</p>
<p><b>国語</b> (書くこと・読むこと) ○読んで、自分の考えをまとめよう。 ・大きな力を出す ・動いて 考えて また動く</p>	<p>気持ちを大切に 「12 気もち」 1-(4) 明朗・誠実、反省 正直に、明るい心で元気よく生活しようとする態度を育てる。</p>	<p><b>特活</b> 学級の生活づくり 学級目標 係決め</p>	<p>・基本的な生活習慣の確立 (係・委員会活動)</p>
<p><b>体育 保健</b> ・わたしは4年生 ・からだの発育しかた ・おとなへの体の変化 ・心の変化</p>	<p>過ちを改める 「16 なくなった まさかり」 1-(4) 明朗・誠実、反省 正直に行動し、過ちは素直に改める態度を育てる。</p>	<p><b>特活</b> 運動会を盛り上げる工夫をしよう。</p>	<p>・運動会 (学年の演技 ・係活動)</p>
<p><b>国語 (言語)</b> ○調べて、まとめて読み合おう ・「ことわざブック」を作ろう</p>	<p>生活チェックで自分づくり 「20 チェック チェック チェック」 1-(1) 自立、思慮・節制 自分でできることは自分でやり、節度ある生活をしようとする態度を育てる</p>	<p><b>特活</b> 運動会を盛り上げる工夫をしよう。</p>	<p>・持久走大会 (記録への挑戦)</p>
<p><b>国語 (言語)</b> ○調べて、まとめて読み合おう ・「ことわざブック」を作ろう</p>	<p>きまりを守ることの大切さ 「23 子どもによる 子どものための 子ども権利条約」 4-(1) 規則の尊重・公德心 人と仲よくするためのきまりについて考え、規則を尊重する態度を育てる。</p>	<p><b>特活</b> 二分の一成人式の計画を立てよう</p>	<p>・与小っ子 フェスティバル (自分の得意なことを発表)</p>
<p><b>国語 (言語)</b> ○調べて、まとめて読み合おう ・「ことわざブック」を作ろう</p>	<p>節度ある生活 「25 人のふり見て わがふり直せ」 1-(1) 自立、思慮・節制 自分でできることは自分でやり、節度ある生活をしようとする態度を育てる</p>	<p><b>総合的な学習</b> 人権・国際理解</p>	<p>・与小っ子 フェスティバル (自分の得意なことを発表)</p>
<p><b>国語 (言語)</b> ○調べて、まとめて読み合おう ・「ことわざブック」を作ろう</p>	<p>うそやごまかし 「29 ぼくは言えなかった」 1-(4) 明朗・誠実、反省 正直に明るい心で、元気よく生活しようとする心情を養う。</p>	<p><b>特活</b> 新年の誓い</p>	<p>・与小っ子 フェスティバル (自分の得意なことを発表)</p>
<p><b>国語 (言語)</b> ○調べて、まとめて読み合おう ・「ことわざブック」を作ろう</p>	<p>うそやごまかし 「29 ぼくは言えなかった」 1-(4) 明朗・誠実、反省 正直に明るい心で、元気よく生活しようとする心情を養う。</p>	<p><b>特活</b> 学芸会を盛り上げる工夫をしよう。</p>	<p>・学芸会 (学年の演技 ・係活動)</p>
<p><b>国語 (言語)</b> ○調べて、まとめて読み合おう ・「ことわざブック」を作ろう</p>	<p>うそやごまかし 「29 ぼくは言えなかった」 1-(4) 明朗・誠実、反省 正直に明るい心で、元気よく生活しようとする心情を養う。</p>	<p><b>特活</b> 二分の一成人式の実施</p>	<p>・修了式 (高学年になる意識をもとう)</p>
<p><b>国語 (言語)</b> ○調べて、まとめて読み合おう ・「ことわざブック」を作ろう</p>	<p>うそやごまかし 「29 ぼくは言えなかった」 1-(4) 明朗・誠実、反省 正直に明るい心で、元気よく生活しようとする心情を養う。</p>	<p><b>特活</b> もうすぐ、5年生</p>	<p>・修了式 (高学年になる意識をもとう)</p>

## 5 校内研究主題との関連について

### (1) 研究主題

「運動に親しみ、たくましい体と心をつくる児童の育成」

～一人一人がめあてをもち、主体的に取り組む体育学習を通して～

### (2) 研究仮説

① 一人一人にめあてを持たせ効果的な授業展開（場の工夫、児童相互の関わり、コーディネーション運動）を図ることで、児童が主体的に取り組む、運動の楽しさや喜びを感じる体育学習ができるであろう。

② 自己の生活習慣や食生活を見つめ直し、健康によりよい生活の仕方や体によりよい食べ物を知ることによって、主体的に望ましい生活習慣や食習慣が身につく、たくましい体と心の備わった児童の育成をすることができるであろう。

③ 先人の伝記や自然、伝統と文化、スポーツなどを題材とした多くの資料を活用した道徳授業を実践することで、子どもたちの興味・関心を高め、自分を見つめ直すことや他者との関わりをもつことを通して「道徳性」を育むことができるであろう。

（ ※ 本授業と関わりのある部分 ）

### (3) 研究の視点

【視点1】一人一人がめあてを持ち、主体的に取り組む体育学習

①児童一人一人の力に合っためあての設定

②児童が主体的に取り組める場の工夫

③コーディネーション運動の工夫（主運動へのつながり）

【視点2】主体的に望ましい生活習慣や食習慣を身につける食育指導

①各教科や各領域などに関連して取り組む食育の工夫

②地域人材（栄養士）を活用した幅広い授業形態・実践

③家庭と連携した食育指導

【視点3】たくましく優しい心を育む道徳学習（ ※ 本授業と関わりのある部分 ）

①児童の興味・関心を高める題材・資料の活用

②コミュニケーションを通して自尊心を育て、よりよい人間関係を築く力を育てる

③教育活動全体を通じた道徳指導の充実

」 本授業においては【視点3】のたくましく優しい心を育む道徳学習に視点をあて、検証していく。

①「児童の興味・関心を高める題材・資料の活用」は、児童のこれまでの成長を振り返らせるとともに、身近で起こりうる葛藤を取り上げる。

②「コミュニケーションを通して自尊心を育て、よりよい人間関係を築く力を育てる」は、身近で起こりうる葛藤を意見の違うグループで話し合わせる。

③「教育活動全体を通じた道徳指導の充実」は、国語科・特活等と関連をもたせた指導計画を図る。



## 6 本時の展開

### (1) ねらい

- ① 自分でできることは自分でやり、節度のある生活をしようとする態度を育てる。
- ② 自分の意見や友だちとの意見を比較しながら、よりよい考えもつことができる。

### (2) 授業仮説

- ① 生活チェックを行うことで、自己の自立と節制がわかるであろう。
- ② 実際の生活で起こりうる事例を提示し、自分の意見や行動を文章化し、他者と意見の交換を行うことで、今後の自己の行動の判断意識が高まるであろう。

### (3) 準備：生活チェック表・ワークシート・自分史シート・幼少期の写真数枚・絵本 大型テレビ

### (4) 展開

過程	学習活動と主な発問○	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 十分	<p>1 あいさつ</p> <p>2 事前に行った「生活チェック！」を振り返り、自分の生活の評価をする。</p> <p>○チェックチェックチェックで「ア」につけた丸の数を数えましょう。</p> <p>○自分づくりはどれくらいできていますか。</p> <p>0～15個→ 「がんばろう」</p> <p>16～20個→ 「もうひとがんばり」</p> <p>21～25個→ 「なかなかいいぞ」</p>	<p>・小さいときはできなかったけど、できることが増えている。</p> <p>・もうちょっとがんばらないといけないな。</p> <p>・まだ、できないことがけっこうある。</p>	<p>・歌や音読などを行い、緊張をほぐす。</p> <p>・事前に行った「生活チェック」の評価を行う。</p> <p>・何人かの児童に感想を求める。</p>
展開 前段 十分	<p>3 「こんな時、あなたなら」読んで話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ある日の掃除時間、給食のおぜん当番を終えたあなたは、教室のそうじをしています。しばらくして、だれかが片づけ忘れたおぜんがロッカーの上に置かれていることに気づきました。</p> <p>友達に聞くと、「たぶん、〇〇さんじゃない？最後に片づけてたから。」という返事。給食を片づける時間は過ぎていきます。あなたならどうしますか。</p> </div> <p>○自分の意見や行動をワークシートに書きましょう。</p>	<p>・A:「片づけ忘れた友だちを探して、片づけるように言う。」</p> <p>・B:「自分で片づける。」</p>	<p>・自分の考えとそのわけ、及び話し合いのあとの感想を書くワークシートを用意する。</p> <p>・話の内容がつかみやすいように、画像を使って場面の様子を伝える。</p> <p>・机間巡視しながら、子ども意見をなるべくA・Bに分けておく。</p> <p>・違う意見があったら取り上げる。</p>

<p>展開後段十五分</p>	<p>○意見が二つのグループに分かれました。A・Bグループに分かれ、それぞれの意見を発表し合ひましょう。</p> <p>○お友だちの意見を聞いて、自分と意見の違いをメモしましょう。</p> <p>○ワークシートに話し合いの後の感想を書きましょう。</p>	<p>〈Aグループの意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・片づけ忘れた人の責任なので、ちゃんと片づけてもらう。</li> <li>・自分の当番の仕事は終わったので後に片づけた人が自分で片づけたほうがよい。</li> </ul> <p>〈Bグループの意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が見つけたので、見つけた人が片づける。</li> <li>・時間がないので、自分で片づける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A・Bグループそれぞれの行動とその理由を発表させる。</li> <li>・友だちの意見に耳を傾け、意見の相違をメモするように指導する。</li> <li>・話し合いのルールを守り、丁寧な言葉で話し合わせる。</li> <li>・正しい答えを出すのではなく、自分なりに考えて、自分自身のことを自分で決めていくことの大切さを感じ取らせる。</li> <li>・ワークシートは「心のノート」12pにはりつけ、事後学習で活用する。</li> </ul>
<p>終末十分</p>	<p>4 チェック チェック チェックを改めて見直し、自己の課題をみつけ今後の挑戦課題を明らかにする。</p> <p>5 「大きくなるってことは」の読み聞かせを聴く</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活チェック」での自己評価をもとに今後の課題をもたさせる。</li> <li>・絵本の読み聞かせを行い、本時の振り返りをすすめる。(大型テレビ活用)</li> </ul>

(5) 評 価

- ① 自己の生活チェック行い、自己の成長過程を振り返ることができた。  
(生活チェックシート・数値評価・発言)
- ② 自分の意見を持ち、相手を思いやりながら意見の交換を行うことができた。  
(ワークシート・発表)

7 板書計画

十一月二十二日(火)

意見 B

○自分で片づける

※児童の意見の理由を書く

意見 A

○片づけ忘れた友だちを探して、片づけるように言う。

※児童の意見の理由を書く

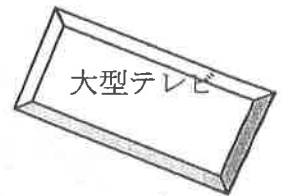
チエック チエック チエック

ある日の掃除時間、給食のおぜん当番を終えたあなたは、教室のそうじをしています。しばらくして、だれかが片づけ忘れたおぜんがロッカーの上に置かれていることに気づきました。

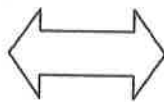
友達に聞くと、「たぶん、○○○さんじゃない？最後に片づけてたから。」

という返事。給食を片づける時間は過ぎていきます。あなたならどうしますか。

8 座席表



田島 うた	白木 しゅんすけ
西川 ひろむ	新城 るか
石底 あかり	田場 ひなこ



稲蔵 はなこ	西川 ゆめの	
仲黒島 ゆいこ	西蔵盛 としみ	徳吉 ともや
前外間 もとあき	崎元 みく	

(意見：Aグループ)

(意見：Bグループ)

※最初はそれぞれの座席で座る。

※途中、意見の違いによって座席の移動を行い、対面で座る。

9 資料

・「チェック チェック チェック」

# チェック チェック チェック!

4年1組 番 名前

○自分の生活をふり返ってアンケートにこたえよう。

1	朝、自分で起きられる	ア 自分で起きる	イ 起こしてもらおう
2	食事のあとの歯みがきは	ア いつもやる	イ ときどきやらない
3	お風呂に入ったとき、自分で頭をあらう	ア あらう	イ あらってもらおう
4	自分の部屋やつくえのまわりは?	ア かたづいている	イ ちらかっている
5	給食のとき下げ忘れた食器がありました	ア かたづける	イ そのままにする
6	着るものは自分で用意している	ア 自分でする	イ してもらおう
7	ねる時間は毎日きちんとまもる	ア 守れる	イ ついテレビを見ておそくなる
8	食事のときテレビは?	ア 消している	イ つけている
9	毎日の授業のじゅんぴは	ア 自分でする	イ てつだってもらおう
10	自分で内容を決めて家庭学習をする	ア できる	イ 宿題をしている
11	食事の後のしょっきは?	ア 自分でかたづける	イ そのまま
12	家の仕事・手伝いを毎日している?	ア している	イ しないこともある
13	出かけた時や帰った時、家族にあいさつは?	ア している	イ していない
14	学校でそうじが早く終わったら?	ア ほかの場所を手伝う	イ 昼休みに遊ぶ準備をする
15	一人ですばんは?	ア できる	イ できない
16	遊びの道具を自分で作ったことがある	ア ある	イ ない
17	低学年がケンカをしています	ア どうしたのか聞く	イ そのままにする
18	ほしいものがあったら	ア がまんして少し考える	イ すぐを買う
19	教室やろうかにゴミがおちていたら?	ア ひろう	イ そのまま通りすぎる
20	学校や友達どうして自分の考えをはっきり言える	ア いえる	イ いえない
21	友達が知らない人の家の庭で遊んでいたら	ア やめさせる	イ いっしょにやる
22	本だなの本がばらばらになっています	ア かたづける	イ 図書委員にまかせる
23	遊ぶ前に家庭学習を済ませている	ア すませている	イ あそんでから
24	チームのメンバーと協力して作戦会議をすることができる	ア できる	イ できない
25	図書館で本をえらぶことができる	ア できる	イ できない

## ○授業研究会（4年 道徳 生活チェックで自分づくりを）

### 1 授業者説明（仲嶺吏佐）

たくましい心と体の育成の「心」の部分に焦点をあてて道徳を実践しました。

今回の題材では普段よく起こりうる「おぜんの片づけの問題」をあげ、どの児童も自己を振り返り意見をもたせることをねらいとしました。

今回の授業に入る前に3年、5年で検証授業を行ったが、各学年の成長過程での違いがあり、3年では考えをまとめて発表することが中心で、5年生では意見交換などのディベートができていました。

### 2 授業の感想

- ・自分の書いた文章を読み返す指導が徹底されている。
- ・児童のつぶやきを担任がしっかり拾っていた。
- ・周りとの意見がずれた児童にも、担任が拾ってあげていた。
- ・子どもたちが意見を発表する機会が多くある。
- ・本音がいえる雰囲気ができている。
- ・担任の「26番目のチェックはね・・・」の発言をまとめた教師のメッセージにつなげると、本時のめあてがさらに明確になるのではないかと思います。
- ・ねらいとする価値は1本にしぼってもよいかと思いました。
- ・話し合いをしながら、自分をみつめて改めていくという流れができていくとよいのかなと思いました。
- ・各学年の発達段階と学級の実態に合わせてどのように取り組むかという点でもっと研究を深めていければと思いました。3年では意見発表、4年では意見交換、低学年と高学年ではどのような形になるか。



### 3 指導助言 八重山教育事務所 指導主事 西原貴和子

- ・指導の柔軟性がとても良い
- ・学校の教育活動全体で行う道徳教育を補充・深化・統合とすると、今回は深化をともなった時間ではないか（子どもたちの思いやりがみえた）
- ・発表させる順番を考えていたのがよかった。
- ・時間を決めてメリハリがしっかりついていた。
- ・道徳の授業では白黒つけることなく、自分の意見や考えを友だちに伝えられるようにする。
- ・板書はただ写させるだけでなく先生と同じスピードで書くようにするか、また板書させない方法もあるのでは。書き写すことが目的ではない。
- ・ねらいの中で今回は2つあるのだが2つめの関連価値に重点をおきすぎて1つ目の中心価値が弱すぎたかな。

平成23年度 校内研修

## 特別活動指導案

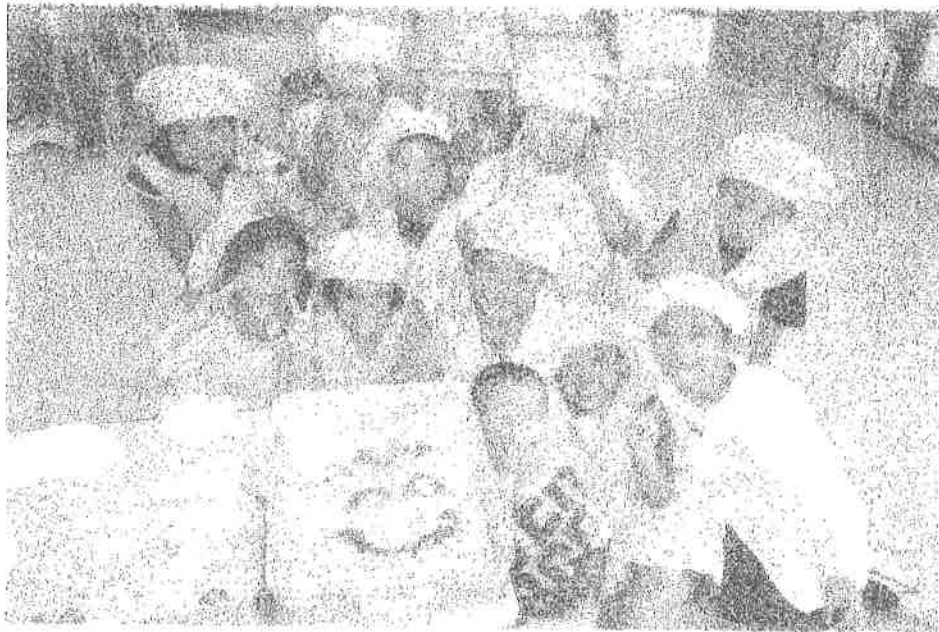
1学年 題材名「体からのお便り」

～自分のうんこを観察しよう～

研究主題

運動に親しみ、たくましい体と心をつくる児童の育成

～一人一人がめあてをもち、主体的に取り組む体育学習を通して～



平成23年12月9日(金) 5校時

与那国町立与那国小学校

# 特別活動指導案

日時 平成23年12月9日(金) 5校時

1学年 男子5名 女子6名 計11名

指導者 T1 兼城 愛由美

T2 伊舎堂 優子

共同研究者 東内原 初妃

1 題材名 体からのお便り ～自分のうんこを観察しよう～

## 2 題材設定の理由

### (1) 題材観

平成17年7月に「食育基本法」が施行され、「食育」を「生きる上での基本」と位置づけ心身の成長や人間形成に大きな影響を及ぼすと指摘している。

本題材を、学校における食に関する指導内容の観点のうち「心身の健康」、学習指導要領における特別活動の内容の「(2)日常生活や学習への適応及び健康安全」の(イ)基本的な生活習慣の形成(カ)心身共に健康で安全な生活態度の形成に位置づけ目標にせまりたい。

心身の成長や健康の保持増進の上で、食べたものと排泄の関係を理解し自ら管理していく能力を身に付けるためには、日々の食生活が自分の体や健康と密接に関わっていることをおさえることが重要である。

児童の中には、排泄することを極端に恥ずかしがったり、学校でトイレに行きたくなくても我慢したりする子がいる。これは学年が上がるにつれてこのような傾向が強くなる。この時期に、排泄に対しての偏見を取り除き、うんこから自身の生活習慣を見つめ直す学習は効果的である。

また、絵本の読み聞かせを取り入れることで、興味をもって学習に取り組み理解が深まるものとする。

### (2) 児童観

本学級の児童は、明るく素直で男女の仲も良い。休み時間はほとんどの児童が校庭でサッカーあそびやバドミントン、一輪車に乗るなど元気に活動することが多い。

児童の意識調査では、給食で苦手な食材が出て半分以上は食べると全員が答えている。その理由として「先生や母親に言われるから」「体によいから」と答えている。また、ほとんどの児童が朝食をとると答えているが、朝寝をしたときは朝食を摂らずに登校すると答えた児童が3人いる。基本的な生活習慣の乱れが食事に直接影響を及ぼしている場面がうかがえる。

排泄に関しては、学校での排便に抵抗がない児童がほとんどであるが、2人が我慢すると答えている。これは、「学校でトイレに行くのは恥ずかしい」「学校のトイレは汚い」などトイレに対する偏見が基にある。

本学習を通して、うんこが体の状態を教えてくれることや、うんこと日々の生活習慣はとても関係が深いことを知ることを通して、排泄への偏見を取り除き、健康な体とよりよい食生活や基本的な生活習慣について考えさせたい。

### 意識調査

#### ◎生活習慣に関わること

- ① 毎日決まった時間に起きますか。  
6時～6時半 (5人) 6時半～7時 (0人) 7時～ (6人)
- ② あさごはんをたべていますか。  
毎日食べる (7人) とときどき食べる (1人) とときどき食べない (3人) 食べない (0人)
- ③ 嫌いな食べ物はどのようにしていますか  
給食では残さず食べる (3人) 少し・半分だけ食べる (8人) 食べない (0人)  
家庭では残さず食べる (5人) 少し・半分だけ食べる (3人) 食べない (3人)

#### ◎排便に関わること

- ④ 毎日うんこをしますか。  
毎日する (5人) ほぼ毎日する (4人) あまりしない (2人)
- ⑤ 学校でうんこがしたくなったらどうしますか。  
トイレに行く (9人) 我慢する (2人)
- ⑥ おうちのトイレは  
きれい (9人) きたない (1人) こわい (1人) その他 (1人)
- ⑦ 学校のトイレは  
きれい (4人) きたない (6人) こわい (2人)
- ⑧ 用をたした後は手を洗いますか。  
いつもあらう (3人) いつも洗わない (1人) 時々あらう (7人)
- ⑨ 用をたした後は水をながしますか  
いつも流す (10人) いつも流さない (0人) 時々ながさない (1人)

### (3) 指導観

前時までに、食物がうんこになる過程と、元気に過ごすためにはしっかり食べることが大切だということを学習している。そこで本授業では、うんこを「体からのお便り」としてとらえ、うんこと日々の食生活や生活習慣について考えさせ自ら健康を作り出そうとする態度や能力を育てることをねらいとする。

導入で、絵本「うんちしたのはだれよ！」を使った読み聞かせをすることで、うんこに興味をもち、いろいろなうんこがあること、どんな動物でもうんこをすること、食べる＝排泄するということを確認したい。展開では食育パペットを使ってうんこと体調の関係を考える活動を行う。その後、うんこの分類をする活動を通して体からのメッセージを受け取らせ、うんこは体調を知らせてくれるバロメーターであることを理解させたい。

また、睡眠や運動、食物繊維と野菜について専門的な立場からの話を聞くことで基本的な生活習慣や野菜を食べることへの理解が深まると考える。さらに、「うんこカレンダー」をつけることを知らせ、事後指導を行う。

### 3. 指導計画

	題材名	主な学習内容	評価
1	みどりキッズのひみつ	○ 食品を3つのグループ(赤黄緑)に分ける。 ・ 緑の食品の種類がわかり給食から野菜探しをする。 ・ 野菜の種類を知る。	・ 食品は3つのグループにわけることができ、それぞれのちがった働きがあることがわかったか。(知) ・ いろんな野菜の種類がわかったか。(知)
2	うんちのふしぎ～どうやってうんちになるの～	○ 読み聞かせ「うんちのふしぎ」エプロンシアター「食べ物のたび」 ・ 口の中に入った食べ物がうんちになるまでの道筋を知る。 ・ 食事と排便の関係に気づき、好き嫌いをしないで食べようという意欲をたかめる。	・ 食物がうんちになる過程がわかったか。(知) ・ しっかり食べようという意識が高まったか。(関・意・態)
3	体からのお便り～自分のうんこを観察しよう～(本時)	○ うんこを観察しよう。 ・ うんこは「体調を知らせてくれる便り」であることが分かる。 ・ 健康なうんこを出すためには規則正しい生活や正しい食生活をするのが分かる。	・ うんこは「体調を知らせてくれる便り」であることがわかったか。(知) ・ 健康なうんこを出すために規則正しい生活を実践しようとする意識が高まったか(意・関・態)
4	トイレのあとは・・・～正しいトイレの使い方～	○ 「がっこうでトイレにいけるかな？」 ・ トイレに入るときのマナー「はきものをかえる」「水を流す」「手を洗う」ことの大切さがわかる。	・ 「はきものをかえる」「水を流す」「手をあらう」といった基本的なマナーを知り実践しようという意識が高まったか(関・意・態)



#### 4. 本校の研究テーマとの関連

「運動に親しみ、たくましい体と心をつくる児童の育成」  
～一人一人がめあてをもち、主体的に取り組む体育学習を通して～

##### (1) 研究仮説

- ① 一人一人にめあてを持たせ効果的な授業展開（場の工夫、児童相互の関わり、コーディネーション運動）を図ることで、児童が主体的に取り組み、運動の楽しさや喜びを感じる体育学習ができるであろう。
- ② 自己の生活習慣や食生活を見つめ直し、健康でよりよい生活の仕方や体によりよい食べ物を知ることによって、主体的に望ましい生活習慣や食習慣が身につく、たくましい体と心の備わった児童の育成をすることができるであろう。
- ③ 先人の伝記や自然、伝統と文化、スポーツなどを題材とした多くの資料を活用した道徳授業を実践することで、子供たちの興味・関心を高め、自分を見つめ直すことや他者との関わりを持つことを通して「道徳性」を育むことができるであろう。

##### (2) 研究の視点

【視点1】一人一人がめあてを持ち、主体的に取り組む体育学習

- ①児童一人一人がめあてを持ち、主体的に取り組む体育学習
- ②児童が主体的に取り組める場の工夫
- ③コーディネーション運動の工夫（主運動へのつながり）

【視点2】主体的に望ましい生活習慣や食習慣を身につける食育指導

- ①各教科や各領域などに関連して取り組む食育指導
- ②地域人材（栄養士）を活用した幅広い授業形態・実践
- ③家庭と連携した食育指導

【視点3】たくましく優しい心を育む道徳学習

- ①児童の興味・関心を高める題材・資料の活用
- ②コミュニケーションを通して自尊心を育て、よりよい人間関係を築く力を育てる
- ③教育活動全体を通じた道徳指導の充実

本時では「主体的に望ましい生活習慣や食習慣を身につける食育指導」に視点をあて、健康でよりよい生活の仕方や体によりよい食べ物を知ることによって、自己の生活習慣や食生活を見つめし、たくましい体と心の備わった児童の育成を図る。

#### 5. 本時の指導

##### (1) 本時のねらい

- ・ うんこは「体からの便り」であることがわかる
- ・ 健康なうんこを出すためには規則正しい生活や正しい食生活をする事が分かる。

##### (2) 授業仮説

- ・ 展開の場で、パペットの体調を考える活動を行うことによってうんこと体の調子を結びつけて考えることができるであろう。
- ・ 終末の場で、睡眠や運動、食物繊維と野菜について専門的な立場からの話を聞くことにより規則正しい生活や正しい食生活を行うことへの理解が深まるであろう。

##### (3) 準備するもの

- ・ 絵本「うんちしたのはだれよ！」
- ・ パワーポイント「うんぴ うんによ うんち うんご」「うんこダスマン」
- ・ 食育パペット「うんちゃん」・うんちカード・ワークシート

(4) 本時の展開

	学習活動	発問☆と予想される児童の反応・	指導上の留意点 ◆評価 ◇工夫・手立て																														
導入 5分	1 絵本「うんちしたのはだれよ！」の読み聞かせ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさん動物のうんこがでてきた。</li> <li>・いろんな形のうんこがあるね。</li> <li>☆どんな動物でもうんこをしますか。</li> <li>・食べたものがうんこになるからみんなうんこするよ。</li> <li>☆自分のうんこをみたことありますか。</li> <li>・ある ・ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 前方に座らせることで、気楽にうんこについて話ができるような雰囲気をつくる。</li> </ul>																														
展開 33分	めあての確認	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     どうして いろんな うんこが出るんだろう                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 食育パペットを使用することで児童のプライバシーに配慮する。</li> <li>◇ パワーポイントを活用し視覚にうったえ、集中力を持続させる。</li> <li>◆ うんこは「体からの便り」ということがわかる。</li> <li>◇ カードを使って表にまとめることで容易にうんここと体調の結びつきの整理ができるようにする。</li> <li>◇ うんこと基本的習慣を結びつけて考えることでうんこと日々の生活習慣はとても関係が深いことに気づかせる。</li> <li>◇ 専門的な立場から話を聞くことで、より理解を深める。</li> <li>◇ 食育パペットを使うことで、自分も頑張っよううんこが出せるような生活を心がけようと思わせるようにする。</li> </ul>																														
	2 食育パペットのうんこ(下痢)でパペットの体調について考える。 3 だいべん博士の話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆どうして「どろどろうんこ」が出たのかな。</li> <li>・風邪をひいていた ・食べすぎた ・手を洗わなかった</li> <li>・冷たい物を食べすぎた ・傷んだものを食べた</li> <li>☆そのとき体はどんな感じがしたかな</li> <li>・お腹がいたかった ・熱があった ・元気がなかった</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     うんこは「体からのおたより」です。うんこを観察しましょう                      どろどろうんこ(下痢)・・・風邪かな。体をあたためてね。                      ふにやふにやうんこ(軟便)・・・よくかんでたべてね。                      ばななうんこ(快便)・・・げんきだよ。ぜっこうちょう！                      カチカチうんこ(便秘)・・・運動してね。野菜をたべてね。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うんこは「体からのたより」なんだ。</li> <li>・うんこを観察しよう。</li> </ul>																															
	4 話をもとに表にする。 A グループ…色 B …におい C …出るとき D …原因 E …形	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>なまえ</td> <td>どろどろ</td> <td>ふにやふにや</td> <td>ばなな</td> <td>カチカチ</td> </tr> <tr> <td>いろ</td> <td>きいろ</td> <td>きいろ</td> <td>ちやいろ</td> <td>こげちやいろ</td> </tr> <tr> <td>におい</td> <td>くさい</td> <td>くさい</td> <td>あまりしない</td> <td>すごくくさい</td> </tr> <tr> <td>出るとき</td> <td>びーっと出る</td> <td>にょろりと出る</td> <td>するっと出る</td> <td>ちよっといたい</td> </tr> <tr> <td>原因</td> <td>冷たい物ばかり食べる。 かぜ・心臓病</td> <td>よくかまずにたべる</td> <td>いもや野菜をたべる 早寝早起</td> <td>やさしいたべない うんこをがまんする 運動不足・水分不足</td> </tr> <tr> <td>かたち</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ばななうんこは体が元気な証拠なんだね。</li> </ul>	なまえ	どろどろ	ふにやふにや	ばなな	カチカチ	いろ	きいろ	きいろ	ちやいろ	こげちやいろ	におい	くさい	くさい	あまりしない	すごくくさい	出るとき	びーっと出る	にょろりと出る	するっと出る	ちよっといたい	原因	冷たい物ばかり食べる。 かぜ・心臓病	よくかまずにたべる	いもや野菜をたべる 早寝早起	やさしいたべない うんこをがまんする 運動不足・水分不足	かたち					
なまえ	どろどろ	ふにやふにや	ばなな	カチカチ																													
いろ	きいろ	きいろ	ちやいろ	こげちやいろ																													
におい	くさい	くさい	あまりしない	すごくくさい																													
出るとき	びーっと出る	にょろりと出る	するっと出る	ちよっといたい																													
原因	冷たい物ばかり食べる。 かぜ・心臓病	よくかまずにたべる	いもや野菜をたべる 早寝早起	やさしいたべない うんこをがまんする 運動不足・水分不足																													
かたち																																	
	5 よいうんこをするために大切なことについて考える 6 よいうんこと日々の基本的生活習慣のつながりについて知る(T2) 食育パペットが①～⑤までのことをやってよいうんこを出す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆よいうんこをするために大切なことは何でしょう。</li> <li>・野菜を食べる ・しっかり食べる ・よくかんで食べる</li> <li>・朝食をとる ・早寝早起き ・運動をする</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「朝ごはんいただき術」</li> <li>② 「お水ゴックンの術」</li> <li>③ 「野菜で繊維の術」</li> <li>④ 「体のびのびの術」</li> <li>⑤ 「うんこタイムの術」</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆ よいうんこを出すために自分ができるところを実践しよう。</li> </ul>																															
まとめ 8分	4 今日の学習でわかったことや感想をまとめ、発表する。 うんこカレンダーをつけることを知らせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分ができるところから始めよう。</li> <li>・規則正しい生活を心がけよう。</li> <li>・うんこを我慢しないでトイレに行こう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ ワークシートに書けない子には、例を示す</li> <li>◆ 基本的な生活習慣を心がけようと思ったか。【ワークシート・発表】</li> </ul>																														

6. 評価

- ・ うんちは体調を表す「体からの便り」であることがわかったか。(知)
- ・ 基本的な生活習慣を心がけようと思うことができたか。(関・意・態)

板書計画

どうして いろんな うんこが できるんだろう

みんな うんこする。  
たべたものがうんこになる

からだからのおたより

かわい  
な  
俺をあたためてね

よくかんで  
食べてね

げんきだよ！  
せつこうしよう！

運動してね  
野菜を食べてね  
我慢してね

なまえ	どろどろ	ふいこやふいこや	ばなな	カチカチ
いろ	きいろ	きいろ ちやいろ	ちやいろ	こげちやいろ
におい	くさい	くさい	あまりしない	すごくくさい
出るとき	びゅっとう出る	にょろりと出る	するっとう出る	ちよっとうたい
原因	冷たい物ばかり食べる。 かぜ・心配事	よくかまずにたべる	いもや野菜をたべる 早寝早起	野菜をたべない うんこをがまんする 運動不足・水分不足
かたち				

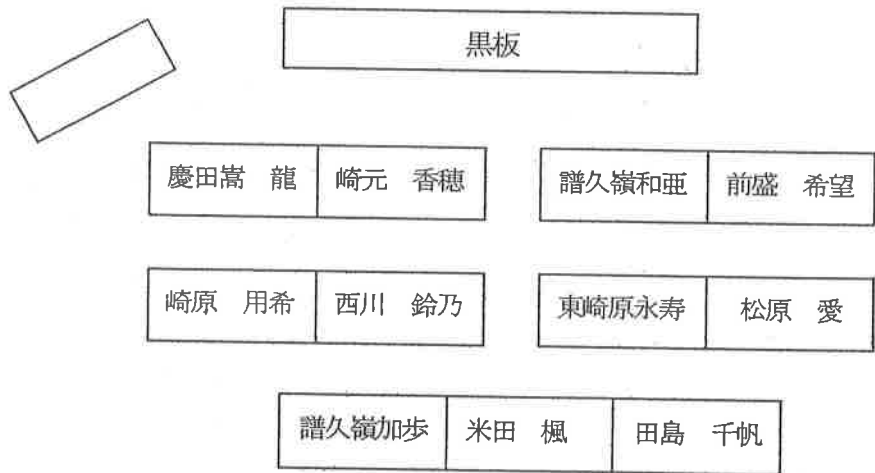
いいうんこは ばななみたいなうんちです。

よいうんちを出すためにできること  
野菜を食べる。 すき嫌いしないで食べる。  
しっかり食べる よく寝る

- ①朝ごはんいただき術
- ②お水ゴックンの術
- ③野菜で繊維の術
- ④運動の術
- ⑤うんこタイムの術

うんこはからだからのおたよりです。  
じぶんにできることはなんです。

座席表



月 日 ( よう日)

ねん	な ま え	
----	-------------	--

1 うんこのしゅるい しってるかな。

[ うんこ ] [ うんこ ]

[ うんこ ] [ うんこ ]

2 うんこのようすで なにがわかりますか。

うんこは からだからの ○○○○ です

										○

3 きょうの 学しゅうで わかったこと おもったことを かきましよう。

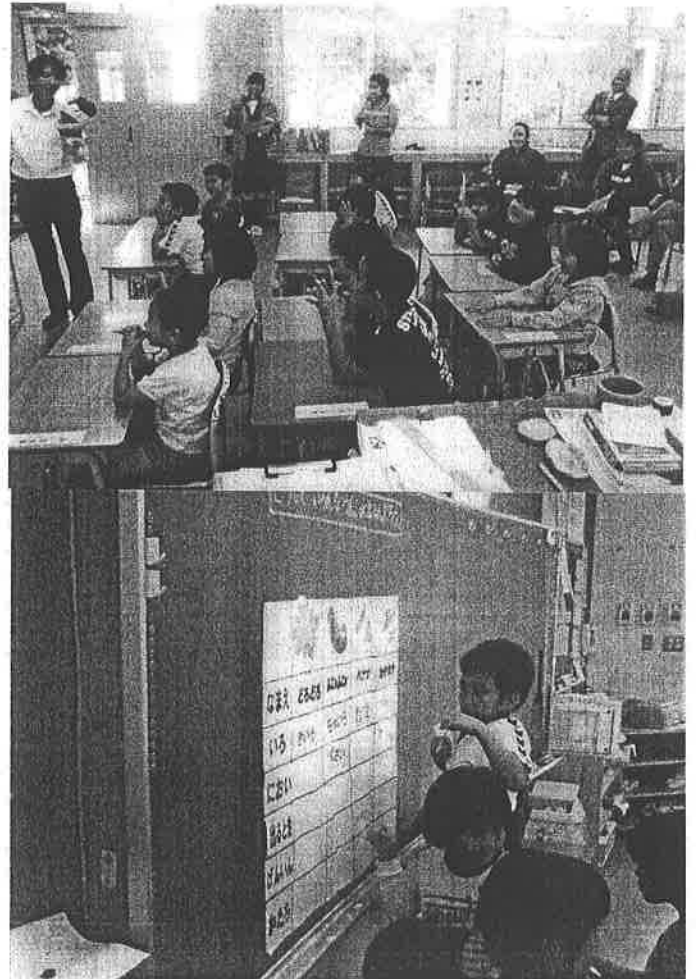
○授業研究会（1年 特別活動 体からの便り）

1 授業者説明（兼城愛由美）

・自分にできることを考えてほしくて授業を組み立てました。1年生で苦戦しました。時間配分に課題があります。内容をもう少ししぼればよかったかな・・読み聞かせやパペットを活用することで興味をもたせることができた。

2 授業の感想

- ・2年生とくらべると反応が少なかったかな・・うんこだすマンでの指導をしたが、少し言葉が難しかったかな
- ・内容がまとめられていた。2年生ではうんこに対する認識が強くなっていた。
- ・家庭との連携をどうするか
- ・食生活をどうみつめなおすか指導の継続が必要
- ・低学年のうちに「うんこ」を題材にするには良い時期だった
- ・子どもが活動する場面があって良かった。
- ・教材研究が授業にあらわれていたので良かった。
- ・例学年のレベルでは少し内容が濃いような感じがした。
- ・視聴覚教材やT2の活用がうまかった。



## ○新体力テスト結果と考察

※全国の前年度平均値は平成 22 年度です。

### 1 握力

男子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
	本校9月	12.2	11.8	17.6	14.3	18.1	21.5
	全国	9.5	11.0	13.0	15.1	17.1	20.3
	全国との比較	◎	◎	◎	▼	◎	◎

女子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
	本校9月	12.3	9.6	15.1	15.8	18.8	22
	全国	8.8	10.5	12.2	14.4	16.9	19.6
	全国との比較	◎	▼	◎	◎	◎	◎

※全国平均よりも ◎上回っている ○同じ ▼下回っている

### 2 上体起こし

男子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
	本校9月	13.6	17.6	18.1	22	21.1	22.8
	全国	11.1	13.5	15.6	17.7	19.9	22.1
	全国との比較	◎	◎	◎	◎	◎	◎

女子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
	本校9月	13.3	16.6	16.2	20.1	20.8	21.6
	全国	10.3	12.9	14.5	16.4	18.4	19.4
	全国との比較	◎	◎	◎	◎	◎	◎

※全国平均よりも ◎上回っている ○同じ ▼下回っている

### 3 長座体前屈

男子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
	本校9月	26	28.8	32.5	30.0	35.1	31.2
	全国	25.8	26.8	29.3	30.5	33.0	35.3
	全国との比較	◎	◎	◎	▼	◎	▼

女子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
	本校9月	25.2	30.0	40.2	37.0	38.6	42.4
	全国	28.2	30.0	32.3	34.4	36.9	39.6
	全国との比較	▼	○	◎	◎	◎	◎

※全国平均よりも ◎上回っている ○同じ ▼下回っている

#### 4 反復横とび

男子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
	本校9月	31.8	35.4	40.0	42.3	44.8	46.7
	全国	27.0	31.5	35.4	38.3	42.6	46.5
	全国との比較	◎	◎	◎	◎	◎	◎

女子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
	本校9月	28.3	34.0	40.4	37.7	42.0	44.2
	全国	26.3	30.4	33.5	36.6	40.1	43.2
	全国との比較	◎	◎	◎	◎	◎	◎

※全国平均よりも ◎上回っている ○同じ ▼下回っている

#### 5 50m走

男子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
	本校9月	11.5	10.4	9.8	9.4	9.4	8.6
	全国	11.5	10.6	10.1	9.6	9.2	8.8
	全国との比較	○	◎	◎	◎	▼	◎

女子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
	本校9月	11.2	11.2	10.3	9.5	9.2	9.1
	全国	11.9	11.0	10.4	9.9	9.5	9.1
	全国との比較	◎	▼	◎	◎	◎	○

※全国平均よりも ◎上回っている ○同じ ▼下回っている

#### 6 立ち幅とび

男子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
	本校9月	97.3	144.4	146.5	159.6	157.1	171.5
	全国	115.1	126.4	137.3	146.4	155.7	167.2
	全国との比較	▼	◎	◎	◎	◎	◎

女子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
	本校9月	111.3	129.4	124.5	142.2	153.8	167.6
	全国	104.9	117.9	128.1	136.9	146.3	155.3
	全国との比較	◎	◎	▼	◎	◎	◎

※全国平均よりも ◎上回っている ○同じ ▼下回っている

7 ソフトボール投げ

男子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
	本校9月	13.6	18.8	24.8	25.6	28.8	32.5
	全国	9.2	12.9	17.4	21.9	25.9	30.7
	全国との比較	◎	◎	◎	◎	◎	◎

女子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
	本校9月	6.5	7.6	13.4	12.7	18.8	22.4
	全国	5.9	8.0	9.9	12.1	15.0	17.4
	全国との比較	◎	▼	◎	◎	◎	◎

※全国平均よりも ◎上回っている ○同じ ▼下回っている

8 20m シャトルラン

男子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
	本校9月	25.2	39.4	42.6	64.0	45.0	63.4
	全国	17.6	26.5	36.6	43.4	53.4	64.3
	全国との比較	◎	◎	◎	◎	▼	▼

男子		1年	2年	3年	4年	5年	6年
	本校9月	19.0	32.0	35.5	39.3	42.4	49.2
	全国	14.4	20.8	26.4	32.9	41.3	48.3
	全国との比較	◎	◎	◎	◎	◎	◎

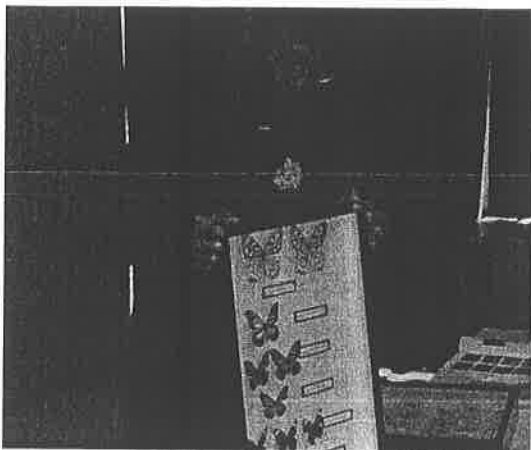
※全国平均よりも ◎上回っている ○同じ ▼下回っている



## 夏休み校内研

### 情報の共有化・活用を通じた職能成長

～一人ひとりのネタ紹介を通して～



#### ヨナグニサンとチョウの観察

実際に子どもたちに標本作りを体験させた体験学習はすごい！子どもたちの心にいつまでも残ると思います。



#### ロープの結び方

いろいろなロープの結び方！学校現場や家庭で役立ちますね。子どもたちにも教えてあげたいです。



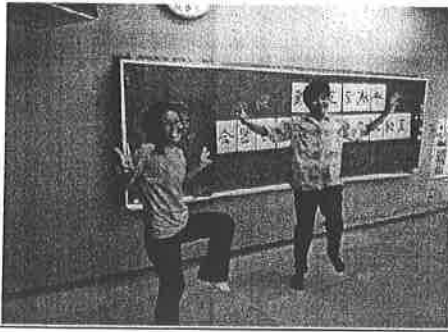
#### 清掃指導・おやつ作り

効果的な清掃指導や、簡単にできるおやつ作り等、子どもが喜ぶネタ満載でした！ぜひ学級で実践してみたいです。



#### 楽しい英語レッスン

さすが留学の経験がある三姫さんのネタでした！5年生はいつも英語の授業で盛り上がっていましたね。



### レッツ・ダンシング

リズム感バッチリの初妃先生のレッスンは楽しかった！2年生の教室はいつも楽しい歌声が響いていました。



### 与那国の歴史

島で育った吏佐先生らしいネタで勉強になりました。島を想う気持ちは、きっと子どもたちに受け継がれていくでしょう。



### 学校で多いケガの応急処置

どれも子どもがやりそうなケガで学級に掲示したいと思いました。子どもがいる家庭でも役立ちますね。ネタとは関係ありませんが笑顔が素敵ですね！



### 船の操縦について

車と同じように海の上でも交通ルールがあることや、海に落ちたときの対処法、海での天気の見方など命に関する貴重なネタでした。



### 事務職員の仕事について

初任の太一さんですが、研修をまとめた発表ありがとうございました。「自分の考えを企画し起案する」という部分に書かれた太一さんの思いが印象的でした



### オランダ語から日本語へ

外国語を学ぶと、日本とのつながりやその国の文化を知ることができ、行ってみたいという気持ちになりますね。他国を知ることには教科指導や教材にも幅がでるなと感じました。

# ○研究の成果と課題

## 1 成果

仮説1 一人一人にめあてを持たせ効果的な授業を展開（場の工夫、児童相互のかかわり、コーディネーション運動）を図ることで、児童が主体的に取り組み、運動の楽しさや喜びを感じる体育学習ができるであろう。

- ・水泳の学習ではデジタル動画などを用いて自分の動きをすぐ確認できるのはよかった。
- ・個々の力に合っためあてをたてて学習に取り組んでいたように思う。
- ・TTの役割分担がしっかりできていた。
- ・昨年までの指定研の流れをうけ、研究授業でも実践ができている。
- ・コーディネーション運動を取り入れたことで、学習に自らとりくもうとする意欲のある児童が増えた。
- ・とび箱遊びにおいて、様々な場を設定したことで、児童自らめあてをもち取り組むことができた。

仮説2 自己の生活習慣や食生活を見つめ直し、健康によい生活の仕方や体によい食べ物を知ることによって、主体的に望ましい生活習慣や食習慣が身につき、たくましい体と心の備わった児童を育成することができるであろう。

- ・給食の食材を3色に色分けすることで食物に関心をもちすすんで食べようとする児童が増えた。
- ・「うんこ」を題材にした学習を通して、普段の生活習慣を振り返り、よりよい生活を心がけようとする児童が増えた。
- ・体によい物を食べよう、自分の体を大切にしようとする児童が増えた。
- ・食育に対する知識をつけることができた。次年度は中学校とも連携を図り取り組みたい。
- ・絵本での導入、養護教諭がコスチュームをつけて授業に入るなど子どもたちをひきつける。
- ・低学年の発達段階に合わせて、食べ物とうんこの関係がつかめたと思う。

仮説3 先人の伝記や自然、伝統と文化、スポーツなどを題材とした多くの資料を活用した道徳授業を実践することで、子どもたちの興味・関心を高め、自分を見つめ直すことや他者とのかかわりをもつことを通して「道徳性」を育むことができるであろう。

- ・5・6年の劇、田原川物語では、当時の村人の気持ちや大浜当行の気持ちなどを深く考えることができた。また、総合の時間には、田原川を調べたりできた。
- ・毎日教室でおこること（食器の片付け忘れ）を題材にして自分の考え方をもち他人の考え方との違いに気づくことができた。
- ・低・中・高での児童の発達段階の違いを授業を通して感じる事ができた。

専門部の取り組み（資料調査部・環境整備部）

- ・新体力テストは年2回実施することができた。細かい分析はしていないが、子どもたちに結果を返すことができた。
- ・校長先生のリードのもとシーソー等の遊具を公園から移動することができた。
- ・なわとび検定を予定通り行うことができた。

## 2 課題

- ・研究校ではなくなった（3年次発表も終えた）ことで力が入っていないところもあるが、継続している活動もあるので大切にしたい。
- ・体育ファイルを確実に次年度につなげていきたい。
- ・実態アンケートなどは、今年度、環境整備部としては取り組めなかったが、学力向上推進と組み合わせてやっていけないか。
- ・今年度の校内研は1つのテーマに向かって3つの方向からせまっていたが、1本にしぼっていったほうがよいように思う。1つめの授業をうけて、2つめ、3つめ・・・と続けていったほうが深まりが出るのでは。
- ・各専門部で話し合う機会や計画を研究主任としてリードできず申し訳ありません。先生方のやる気や個々の力は、話し合いや普段の実践を見て十分に感じてはいました。研究主任として話し合う場の設定と、何をどのようにいつまでにやるかをしっかりと決め経過確認などもしながらやることが大切だと痛感しています。次年度へ反省としてつなげていきな  
い・・・